

はじめに：JICA の改革と人材育成プログラム

JICA は、2003 年の独立行政法人化以来、現場重視、人間の安全保障、業務の効率化・迅速化を 3 本の柱として改革を進めてきました。その後、昨 2005 年には、JICA 改革プラン第 2 弾を発表しました。この第 2 弾の改革の中で、特に、国内事業の中心である研修員受入事業については、「途上国のニーズに的確に即応できるように再編する」ことを目指して、改革・改善に努めてきたところです。

今回、この冊子をお届けするに当たり、JICA が研修事業に対して期待する役割と、そのさらなる有効活用のために進めようとしている改革・改善への取り組みについて、以下、若干、お話をさせていただきます。

JICA と人材育成

JICA のすべての活動を通じていつも中心にあった考え方は、人材の育成こそが途上国の発展の基礎である、ということです。JICA は、専門家派遣、プロジェクト、開発調査、研修事業、青年海外協力隊派遣など、JICA は他のドナーに比べても幅広い援助メニューを有していますが、これらのすべての事業のほとんどは、究極的には途上国の人材育成のために行われているといっても過言ではありません。

途上国の人材を日本に招いて日本で実施する研修プログラムは、JICA の数ある援助スキームの中でも、人材育成のための重要なツールとして、JICA が、その前身も含め半世紀にもわたる長い活動の歴史の中で重視してきたものですが、近年、その内容のいっそうの充実に力を入れてきています。

本冊子をご覧くださいとわかるとおり、日本での研修プログラムは、全体で 360 余のコースからなり、教育、保健、インフラ、エネルギー、貿易・金融、農業農村開発から環境にいたるまで、開発に必要なあらゆる分野をカバーしています。同じ分野の中でも、参加対象者の区分（行政官／技術者）対象とする題材のレベル（初級・中級・上級など）によって、きめ細かにコースを用意しています。地域・テーマによっては、地域固有のニーズに対応した、地域共通の言語で実施されるコースも用意しています。

今回お届けするこの冊子においては、研修コース全体を俯瞰していただけるよう、コース間関係整理票をつけてあります。これらも活用し、幅広いコースを、開発へのプログラムの重要なコンポーネントとして、活かしていただきたいと思えます。

日本の開発経験

さて、日本は、非西欧国家として、世界で初めて近代化・工業化への道に成功した国ですが、その過程で、欧米諸国からの知識・技術を取り入れ（adopt）、国内の実情に合うように応用（adapt）するという取り組みを、国を挙げて進めてきました。日本の近代化を支えた土木技術や経済成長の推進力となった企業経営手法から、今日の環境保全技術や行政改革まで、日本社会を動かす知識・技術は、このような試行錯誤の努力の積み重ねの中から生まれてきたものです。こうした日本の経験は、日本と同じように自国の状況に適した制度や技術の創造に取り組んでおられる多くの国々に参考にしていただけるのではないかと考えます。

しかし、他方で、日本の経験には、「百聞は一見にしかず」と言われるように、日本に来ていただいて、実際の現場を見、苦勞を話し合い、経験を追体験していただくことで、初めて理解いただけるものも少なくありません。ぜひ、日本においでいただき、幅広い日本人と接し、日本のシステムを見て、その長所と短所を含めて、いろいろな発見をしていただきたいと希望します。

個人の能力向上から組織的キャパシティ・デベロップメントへ

他方、研修事業が、有効な人材育成ツールとしてさらにその効果を高めるために、いくつかの課題があります。個人レベルの知識・技能の向上にフォーカスを当てただけでなく、それが組織・社会の中で、どのように活用されるかについて、適切な配慮がなされる必要があります。あるいは、いったん研修参加者が研修の場を離れた後において研修の成果を活かすためには、適切なフォローアップも求められます。あるいは、せっかく培った人的ネットワークを維持し発展させるための工夫も、さらに強化することが望ましいと考えられます。

JICAでは、そのような面での改善を図るため、日本での研修に先立っての「事前の活動」、そして日本での研修の後において行われる「事後の活動」を重視するための取り組みを始めています。また、フォローアップを充実させるなどの工夫を取り入れています。

これらの取り組みについての詳細は、本冊子の本文をご覧ください、個人のみならず組織的な機能強化に、日本の研修プログラムを役立てていただきたいと思います。同時に、日本での研修が、他国で同じような課題に取り組んでおられる仲間との間のネットワークを構築する場としても、活用されることを期待します。

独立行政法人 国際協力機構
理事長 緒方 貞子

目次
CONTENTS

1. 集団研修について.....	3
2. 集団・地域別研修プログラム間関係整理票	
集団・地域別研修プログラム間関係整理票について	11
(1) 基礎教育【教育】	12
(2) 職業訓練・産業技術教育【教育】	13
(3) リプロダクティブ・ヘルス【保健医療】	14
(4) 防災【水資源・防災】	15
(5) 障害者支援【社会保障】	16
(6) 【運輸交通】	17
一般交通	17
国際交通	18
都市交通	19
(7) 【情報通信技術】	20
システム・エンジニア人材の育成.....	20
通信技術分野の向上.....	21
政策担当者の育成.....	22
通信基盤の整備.....	23
電子政府の推進.....	24
各分野へのIT活用の促進	25
放送.....	26
(8) エネルギー供給【資源・エネルギー】	27
(9) 省エネルギー【資源・エネルギー】	28
(10) 金融【経済政策】	29
(11) 貿易・投資促進【民間セクター開発】	30
(12) 中小企業育成・裾野産業育成【民間セクター開発】	31
(13) 【農業開発・農村開発】	32
政策支援	32
環境・資源	33
生産基盤	34

生産技術	35
畜産.....	36
農民組織・普及・農村開発	37
流通加工	38
(14) 【自然環境保全】	39
(15) 【水産】	40
(16) 【ジェンダーと開発】	41
(17) 都市開発【都市開発・地域開発】	42
(18) 【環境管理】	43
大気.....	43
水質汚濁	44
廃棄物処理	45
分野横断・その他.....	46

3. プログラム概要表

プログラム概要表の各項目について	49
------------------------	----

教 育 EDUCATION

初等教育 Primary Education

J-06-00038 学校保健.....	53
SCHOOL HEALTH	

前期中等教育 Lower Secondary Education

J-06-00004 中等科学教育実技 II	54
PRACTICE OF SCIENCE EDUCATION FOR SECONDARY SCHOOL II	
J-06-00888 中等教育開発 II	55
SECONDARY EDUCATION DEVELOPMENT II	

職業訓練・産業技術教育 Technical and Vocational Education and Training

J-06-00345 職業訓練管理セミナー	56
SEMINAR ON TRAINING MANAGEMENT IN VOCATIONAL TRAINING INSTITUTIONS	
J-06-00346 職業能力開発行政セミナー.....	56
SEMINAR ON HUMAN RESOURCES DEVELOPMENT ADMINISTRATION	
J-06-00571 メカトロニクス訓練	57
MECHATRONICS	
J-06-00784 職業訓練指導員（情報技術）	57
VOCATIONAL TRAINING INSTRUCTORS (INFORMATION TECHNOLOGY AND COMPUTER FOR INSTRUCTORS AND ENGINEERS)	

J-06-00785 職業訓練指導員（機械専門技術）	58
VOCATIONAL TRAINING INSTRUCTORS (MECHANICAL ENGINEERING FOR INSTRUCTORS AND ENGINEERS)	
J-06-00788 自動車検査整備制度	158
MOTOR VEHICLE INSPECTION AND MAINTENANCE SYSTEM	
J-06-00869 職業訓練向上セミナーII	58
SEMINAR ON ENHANCEMENT OF VOCATIONAL TRAINING II	
教育行政 Educational Administration	
J-06-00721 地方教育行政セミナー（サブ・サハラアフリカ諸国）II	59
SEMINAR ON LOCAL EDUCATIONAL ADMINISTRATION (SUB-SAHARAN AFRICAN COUNTRIES) II	
その他教育 Other Education Issues	
J-06-00027 人材育成プログラム運営	60
MANAGEMENT OF HUMAN CAPACITY DEVELOPMENT PROGRAMS	
J-06-00759 自然体験を通じた環境教育トレーニング	61
ENVIRONMENTAL EDUCATION THROUGH A NATURE EXPERIENCE	
J-06-00855 教育・普及活動のためのデジタルビデオ教材制作	181
DIGITAL VIDEO PRODUCTION FOR EDUCATION AND DISSEMINATION	
J-06-00856 マルチメディア利用による普及啓蒙活動の理論と実践	182
THEORY AND PRACTICE ON PUBLIC ENLIGHTENMENT USING MULTIMEDIA	
J-06-00857 教育のためのマルチメディア応用技術	183
APPLICATION OF MULTIMEDIA TECHNOLOGY FOR E-EDUCATION	
J-06-00859 町並み保全の手法と運営	62
PLANNING & MANAGEMENT OF THE CONSERVATION OF HISTORIC TOWNSCAPE	
J-06-00891 産業技術教育 II	63
INDUSTRIAL TECHNOLOGY EDUCATION II	
J-06-00898 博物館学集中コース	64
INTENSIVE COURSE ON MUSEOLOGY	
J-06-03509 女性の教育推進セミナーII	291
SEMINAR ON THE PROMOTION OF EDUCATION FOR GIRLS AND WOMEN II	

保健医療 HEALTH**保健医療システム Health System**

J-06-00008 農村医学 II	67
AGRICULTURAL MEDICINE AND RURAL HEALTH II	
J-06-00010 病院経営・財務管理 II	67
HOSPITAL MANAGEMENT II	
J-06-00039 食品保健行政	68
FOOD SANITATION ADMINISTRATION	
J-06-00255 看護指導者育成	69
NURSING MANAGEMENT	
J-06-00321 補装具製作技術	136
PROSTHETIC AND ORTHOTIC TECHNIQUE	

J-06-00738	循環器病対策 II	70
	CARDIOVASCULAR DISEASES II	
J-06-00741	保健衛生政策向上セミナー.....	70
	SEMINAR FOR HEALTH POLICY DEVELOPMENT	
J-06-00753	早期食道・胃・大腸癌の病理組織診断（中南米）	71
	HISTOPATHOLOGICAL DIAGNOSIS OF EARLY ESOPHAGOGASTRIC AND COLORECTAL CARCINOMAS (LATIN AMERICA)	
J-06-00794	アジア・環太平洋諸国地域がん予防対策.....	72
	COMMUNITY-BASED CANCER PREVENTION FOR ASIA & PAN PACIFIC COUNTRIES	
J-06-00796	救急・大災害医療セミナーII	73
	SEMINAR ON EMERGENCY/DISASTER MEDICINE II	
J-06-00816	歯学教育.....	73
	DENTAL EDUCATION	
J-06-00819	肝炎の疫学とその予防、治療対策セミナー.....	74
	SEMINAR ON INFECTIOUS HEPATITIS, ITS EPIDEMIOLOGY, PREVENTION AND TREATMENT	
J-06-00825	外科医のための泌尿器科臨床研修 II	74
	CLINICAL COURSE IN UROLOGY FOR GENERAL SURGEONS II	
J-06-00847	食品の安全性確保 II	75
	ASSURANCE OF FOOD SAFETY AND QUALITY CONTROL II	
J-06-00870	都市上水道維持管理 II.....	103
	OPERATION AND MAINTENANCE OF URBAN WATER SUPPLY SYSTEMS	
J-06-00871	国際寄生虫予防指導者セミナーII	76
	SEMINAR ON PARASITE CONTROL ADMINISTRATION FOR SENIOR OFFICERSII -A STEP TOWARDS PRIMARY HEALTH CARE-	
J-06-00873	病院薬学 II.....	77
	HOSPITAL PHARMACY II	
J-06-00892	大都市地震災害軽減のための総合戦略.....	107
	MITIGATION STRATEGY FOR MEGA-URBAN EARTHQUAKE DISASTER	
J-06-00906	国際保健医療指導者養成研修	77
	TRAINING COURSE FOR HEALTH FUTURIST -DEVELOPMENT OF GLOBAL HEALTH OFFICER	
J-06-00907	アジア諸国高級事務レベル社会福祉行政研修	142
	STUDY PROGRAMME FOR SENIOR SOCIAL WELFARE ADMINISTRATORS	
J-06-00909	食品衛生行政研修	78
	STUDY PROGRAMME ON FOOD SANITATION MANAGEMENT	
J-06-00913	アジア諸国薬事行政官.....	78
	STUDY PROGRAMME ON PHARMACEUTICAL AFFAIRS	
J-06-00914	必須医薬品製造品質管理研修	79
	STUDY PROGRAMME ON MANUFACTURING CONTROL OF ESSENTIAL DRUGS	
J-06-00957	最新のがんの診断と治療.....	80
	LATEST CANCER DIAGNOSIS AND TREATMENT	
J-06-00959	病院管理技術とヘルスサービスマネジメント	81
	HOSPITAL ADMINISTRATION AND HEALTH SERVICES MANAGEMENT	

J-06-00960	保健衛生管理	82
	HEALTH SYSTEMS MANAGEMENT	
J-06-00961	臨床検査技術 II	83
	CLINICAL LABORATORY TECHNOLOGY II	
J-06-00965	薬物乱用防止啓発活動 II	83
	DRUG ABUSE PREVENTION ACTIVITIES II	
J-06-00985	生活習慣病予防対策 II	84
	GROUP TRAINING COURSE IN LIFESTYLE-RELATED DISEASES PREVENTION II	
J-06-00998	医療技術スタッフ練成コース II	85
	MEDICAL STAFF TRAINING COURSE II	
J-06-03519	健康と栄養改善のための女性指導者研修	85
	NUTRITION AND DIET IMPROVEMENT FOR WOMAN LEADERS	
HIV/AIDS HIV/AIDS		
J-06-00787	H I V感染者のケアとマネジメントのための高度診断技術	86
	ADVANCED LABORATORY TECHNOLOGY FOR CARE AND MANAGEMENT OF HIV-1 INFECTED INDIVIDUALS	
J-06-00820	A I D S / A T L の疫学及び対策セミナー	86
	SEMINAR ON CONTROL OF AIDS AND ATL	
結核 Tuberculosis		
J-06-00964	ストップ結核アクション研修	87
	STOP TB ACTION TRAINING COURSE	
J-06-00966	D O T S 拡大のための結核菌検査コース（結核対策細菌検査マネージメント）	87
	TUBERCULOSIS LABORATORY NETWORK FOR DOTS EXPANSION	
予防接種 Immunization		
J-06-00367	ワクチン品質管理技術	88
	VACCINE QUALITY CONTROL TECHNOLOGY	
J-06-00880	ワクチン予防可能疾患の疫学及び対策セミナー ～ポリオ、麻疹、B型肝炎対策及び新ワクチン導入～	88
	SEMINAR ON EPIDEMIOLOGY AND CONTROL MEASURES OF VACCINE PREVENTABLE DISEASES - POLIO END GAME -	
その他感染症 Other Infectious Diseases		
J-06-00739	地球規模ポリオ根絶のためのウイルス検査技術の質的向上	89
	IMPROVEMENT OF BIOLOGICAL TECHNIQUES FOR THE GLOBAL POLIO ERADICATION PROGRAM	
J-06-00740	ハンセン病の治療及び予防の実践	89
	PRACTICE COURSE ON THERAPY AND PREVENTION OF LEPROSY	
J-06-00773	感染管理指導者養成研修	90
	TRAINING COURSE FOR THE SPECIALIST OF INFECTION CONTROL AND PREVENTION	
J-06-00813	熱帯医学研究 II	91
	RESEARCH IN TROPICAL MEDICINE II	
J-06-00823	衛生環境分析技術者 II	91
	HEALTH AND ENVIRONMENTAL TECHNOLOGISTS II	
J-06-00884	薬剤耐性病原体の実験室診断 II	92
	DEVELOPMENT OF LABORATORY DIAGNOSIS OF RESISTANT MICROBES II	

J-06-00910	感染症対策研修	92
	STUDY PROGRAMME ON COMMUNICABLE DISEASES CONTROL	
母子保健・リプロダクティブヘルス Maternal and Child Health/Reproductive Health		
J-06-00707	リプロダクティブ・ヘルスNGO指導者セミナー～自立を目指したNGOの能力強化～	93
	REPRODUCTIVE HEALTH SEMINAR FOR NGO SENIOR OFFICERS ～CAPACITY BUILDING OF NGO TOWARDS SUSTAINABILITY～	
J-06-00717	「子どもの死亡削減と国際協力」セミナー ～ミレニアム開発目標の達成をめざして～	94
	SEMINAR ON HOW TO REDUCE CHILD DEATHS AND INTERNATIONAL COOPERATION - IN FOCUS ON MILLENNIUM DEVELOPMENT GOALS, NO.4, 5 AND 6 -	
J-06-00757	母子保健人材育成	94
	HUMAN RESOURCES DEVELOPMENT IN THE FIELD OF MATERNAL AND CHILD HEALTH	
J-06-00868	思春期保健セミナー～若者参加と環境づくりにむけて～	95
	SEMINAR ON ADOLESCENT SEXUAL AND REPRODUCTIVE HEALTH SUBTITLE:TOWARDS YOUTH INVOLVEMENT AND CREATION OF YOUTH FRIENDLY ENVIRONMENT	
J-06-00911	アジア諸国地域母子保健福祉研修	96
	ASIAN MATERNAL AND CHILD HEALTH AND WELFARE WORKSHOP	

水資源・防災 WATER RESOURCE/ DISASTER MANAGEMENT

総合的水資源管理 Comprehensive Water Resources Management		
J-06-00763	水道技術者養成 II	99
	WATERWORKS ENGINEERING II	
J-06-00766	河川及びダム工学 III	100
	RIVER AND DAM ENGINEERING III	
J-06-00839	統合的水資源管理	101
	INTEGRATED WATER RESOURCES MANAGEMENT	
J-06-00851	乾燥地における水資源・環境管理	101
	WATER RESOURCES AND ENVIRONMENTAL MANAGEMENT IN ARID REGION	
J-06-00890	乾燥地水資源の開発と環境評価 II	102
	IRRIGATION WATER RESOURCES IN ARID & SEMI-ARID REGION AND E.I.A. FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT II	
J-06-00915	水道管理行政研修	102
	SEMINAR ON WATER SUPPLY MANAGEMENT	
J-06-03529	上水道無収水量管理対策 III.....	103
	NON-REVENUE WATER MANAGEMENT III	
都市給水 Urban Water Supply		
J-06-00779	下水道技術・都市排水コース	318
	SEWAGE WORKS ENGINEERING AND STORMWATER DRAINAGE TECHNOLOGY	
J-06-00870	都市上水道維持管理 II	103
	OPERATION AND MAINTENANCE OF URBAN WATER SUPPLY SYSTEMS	
J-06-00944	上水道施設技術 II	104
	ENGINEERING ON WATER SUPPLY SYSTEMS II	

J-06-00876	火山学・総合土砂災害対策.....	105
	DISASTER RISK MANAGEMENT TECHNOLOGY ON VOLCANIC ERUPTION, DEBRIS FLOW AND LANDSLIDE MITIGATION	
J-06-00035	地震津波火山観測システムの運用・管理.....	105
	OPERATING MANAGEMENT OF EARTHQUAKE-TSUNAMI-VOLCANO ERUPTION OBSERVATION SYSTEM	
J-06-00875	地震・耐震・防災工学.....	106
	SEISMOLOGY, EARTHQUAKE ENGINEERING AND DISASTER MITIGATION	
J-06-00887	グローバル地震観測 III.....	106
	GLOBAL SEISMOLOGICAL OBSERVATION III	
J-06-03074	工業用水使用合理化及び廃水再生利用（18年度休止）.....	321
	（休止） EFFECTIVE USE OF INDUSTRIAL WATER AND RE-USE OF WASTE WATER	
気象 Meteorology		
J-06-00780	気象学.....	107
	METEOROLOGY	
総合防災 Comprehensive Disaster Management		
J-06-00342	救急救助技術.....	128
	RESCUE TECHNIQUES	
J-06-00796	救急・大災害医療セミナーII.....	73
	SEMINAR ON EMERGENCY/DISASTER MEDICINE II	
J-06-00892	大都市地震災害軽減のための総合戦略.....	107
	MITIGATION STRATEGY FOR MEGA-URBAN EARTHQUAKE DISASTER	
J-06-00999	防災行政管理者セミナーII.....	108
	SEMINAR ON DISASTER MANAGEMENT II	
J-06-03423	自然災害防災研究（18年度休止）.....	109
	（休止） NATURAL DISASTER MITIGATION	
J-06-03521	インフラ施設の自然災害に対する抑止・軽減対策及び復旧対策.....	109
	DISASTER MITIGATION, PREPAREDNESS AND RESTORATION FOR INFRASTRUCTURE	
その他水資源・防災 Other Water Resources/Disaster Management Issues		
J-06-00814	消火技術 II.....	110
	FIRE FIGHTING TECHNIQUES II	
J-06-00933	火災予防技術 II.....	110
	THE GROUP TRAINING COURSE IN FIRE PREVENTION TECHNIQUES II	
ガバナンス GOVERNANCE		
行政基盤 Administrative Institutions		
J-06-00320	上級国家行政セミナー.....	113
	SEMINAR ON NATIONAL GOVERNMENT ADMINISTRATION FOR SENIOR OFFICIALS	
J-06-00569	上級人事管理セミナー.....	113
	SEMINAR ON GOVERNMENTAL HUMAN RESOURCE MANAGEMENT FOR SENIOR OFFICIALS	
J-06-00709	政府会計検査セミナー.....	114
	SEMINAR ON GOVERNMENT AUDIT	

J-06-00845 国際税務行政セミナー（一般コース）II.....	114
INTERNATIONAL SEMINAR ON TAXATION (GENERAL COURSE) II	
J-06-00846 国際税務行政セミナー（上級コース）III.....	115
INTERNATIONAL SEMINAR ON TAXATION (SENIOR COURSE) III	
J-06-00867 人事行政セミナー	115
SEMINAR ON PUBLIC PERSONNEL ADMINISTRATION FOR MIDDLE LEVEL OFFICIALS	
J-06-00901 開発政策 II.....	116
DEVELOPMENT POLICIES II	
J-06-00931 税関行政 II.....	117
CUSTOMS ADMINISTRATION II	
J-06-00996 出入国管理行政（アジア諸国）II	117
IMMIGRATION CONTROL ADMINISTRATION (ASIAN COUNTRIES) II	
J-06-03224 A S O S A I ワークショップ	118
ASOSAI WORKSHOP	
地方行政 Local Governance	
J-06-00029 地方自治体による民間産業の活性化セミナー	118
SEMINAR FOR LOCAL GOVERNMENT OFFICER ON PRIVATE SECTOR DEVELOPMENT	
J-06-00037 地方財政.....	119
LOCAL FINANCING	
J-06-00828 地方行政に携わる幹部との交流セミナー.....	120
TOP MANAGERS' SEMINAR	
J-06-00830 地方行政に携わる幹部との交流セミナー.....	120
TOP MANAGERS' SEMINAR	
J-06-00841 市民社会活動の促進とコミュニティ開発.....	121
PROMOTION OF ENABLING ENVIRONMENT FOR CIVIL SOCIETY AND COMMUNITY DEVELOPMENT	
J-06-00932 地方自治研修 II	122
LOCAL GOVERNANCE (POLICY MAKING AND CIVIL SOCIETY)	
J-06-00994 地方自治体行政（参加型地域開発）II.....	122
LOCAL GOVERNMENT ADMINISTRATION AND PUBLIC SERVICES (PARTICIPATORY LOCAL DEVELOPMENT) II	
統計 Statistics	
J-06-00567 官庁統計の解析、解釈及び公表	123
ANALYSIS, INTERPRETATION AND DISSEMINATION OF OFFICIAL STATISTICS (SOCIAL STATISTICS)	
J-06-00750 農業統計指導者	237
AGRICULTURAL STATISTICS COURSE FOR SENIOR STATISTICAL OFFICERS	
J-06-00934 統計モジュール	123
MODULES ON FUNDAMENTAL OFFICIAL STATISTICS	
J-06-00935 官庁統計の作成及び公表のための情報通信技術の適用.....	124
APPLICATION OF INFO.& COMMUNICATIONS TECHNOLOGY TO PRODUCTION & DISSEMINATION OF OFFICIAL STATISTICS	
法・司法 Legal and Judicial Development	
J-06-00804 汚職防止刑事司法支援 II.....	125
CORRUPTION CONTROL IN CRIMINAL JUSTICE II	

J-06-00971 犯罪防止（矯正保護）II.....	126
CRIME PREVENTION (TREATMENT OF OFFENDERS) II	
J-06-00972 犯罪防止（刑事司法）II.....	126
CRIME PREVENTION (ADMINISTRATION OF CRIMINAL JUSTICE) II	
J-06-00973 犯罪防止（上級）セミナーII	127
CRIME PREVENTION (SENIOR SEMINAR) II	
公共安全 Public Safety	
J-06-00079 交通警察行政研修（18年度休止）	127
（休止） TRAFFIC POLICE ADMINISTRATION SEMINAR	
J-06-00342 救急救助技術	128
RESCUE TECHNIQUES	
J-06-00706 薬物犯罪取締セミナーIII.....	128
SEMINAR ON CONTROL OF DRUG OFFENCES III	
J-06-00737 警察情報通信セミナー	129
SEMINAR ON POLICE INFO-COMMUNICATIONS	
J-06-00777 国際テロ事件捜査セミナーII	129
SEMINAR ON INTERNATIONAL TERRORISM INVESTIGATION II	
J-06-00829 消防行政に携わる幹部との交流セミナー.....	130
TOP MANAGERS' SEMINAR FIRE CONTROL ADMINISTRATION	
J-06-00837 アジア・大洋州地域諸国に対する生物テロ被害対処及び危機管理セミナー（18年度休止）	130
（休止） SEMINAR ON CONSEQUENCE AND CRISIS MANAGEMENT OF BIOLOGICAL TERRORISM	
J-06-00893 上級警察幹部セミナー	131
SEMINAR FOR FOREIGN SENIOR POLICE OFFICERS	
J-06-00899 爆発物の鑑定に関する国際法科学セミナー.....	131
INTERNATIONAL FORENSIC SEMINAR ON INVESTIGATION OF EXPLOSIONS AND BOMBING SCENE	
J-06-00908 麻薬行政官研修	132
STUDY PROGRAMME ON DRUG ABUSE AND NARCOTICS CONTROL	
J-06-00933 火災予防技術 II	110
THE GROUP TRAINING COURSE IN FIRE PREVENTION TECHNIQUES II	
J-06-00963 国際捜査セミナーIII.....	132
SEMINAR ON CRIMINAL INVESTIGATION III	
その他ガバナンス Other Governance Issues	
J-06-00835 公的資金協力セミナー	333
SEMINAR FOR JBIC'S OFFICIAL FINANCIAL COOPERATION	
J-06-00965 薬物乱用防止啓発活動 II.....	83
DRUG ABUSE PREVENTION ACTIVITIES II	

社会保障 SOCIAL SECURITY

障害者支援 Support for Persons with Disabilities

J-06-00030 聾者のための指導者 II.....	135
LEADERSHIP TRAINING FOR DEAF PERSONS II	

J-06-00321 補装具製作技術	136
PROSTHETIC AND ORTHOTIC TECHNIQUE	
J-06-00430 障害者リーダー育成コース.....	137
LEADERSHIP DEVELOPMENT OF PERSONS WITH DISABILITIES	
J-06-00760 視覚障害者自立支援のためのマッサージ指導者育成研修（アジア太平洋）	138
THERAPEUTIC MASSAGE INSTRUCTORS FOR VISUALLY IMPAIRED PERSONS (ASIA PACIFIC)	
J-06-00872 職業リハビリテーションと障害者の就労.....	139
VOCATIONAL REHABILITATION AND EMPLOYMENT PROMOTION OF PERSONS WITH DISABILITIES -WORKSHOP MANAGEMENT	
J-06-00956 知的障害福祉 II－知的障害と共生する地域開発を目指して－.....	140
INTELLECTUAL DISABILITIES II -INCLUSION OF INTELLECTUAL DISABILITY INTO COMMUNITY DEVELOPMENT-	
J-06-00958 障害者スポーツを通じた社会統合	141
PROMOTION OF SOCIAL INTEGRATION THROUGH SPORTS OF PERSONS WITH DISABILITIES	
社会保険・社会福祉 Social Insurance/Social Welfare	
J-06-00907 アジア諸国高級事務レベル社会福祉行政研修	142
STUDY PROGRAMME FOR SENIOR SOCIAL WELFARE ADMINISTRATORS	
J-06-00912 アジア諸国高級事務レベル社会保険行政研修	142
STUDY PROGRAMME FOR SENIOR SOCIAL INSURANCE ADMINISTRATORS	
労働・雇用関係 Labour and Employment	
J-06-00005 持続可能な発展のための職業環境保健マネジメント.....	143
OCCUPATIONAL AND ENVIRONMENTAL HEALTH MANAGEMENT FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT	
J-06-00718 労働安全衛生政策セミナー.....	143
SEMINAR ON POLICY OF INDUSTRIAL SAFETY AND HEALTH	
J-06-00742 労使関係政策向上セミナー.....	144
SEMINAR ON LABOUR-MANAGEMENT RELATIONS POLICY DEVELOPMENT	
J-06-00769 建設業における労働安全管理 II	145
OCCUPATIONAL SAFETY MANAGEMENT IN CONSTRUCTION INDUSTRY II	
J-06-03522 職業病防止と作業環境.....	146
OCCUPATIONAL DISEASE PREVENTION AND WORKING ENVIRONMENT IMPROVEMENT	

運輸交通 TRANSPORTATION

運輸交通行政 Capacity Development for Transport Sector

J-06-00798 建設事業における環境保全対策	298
ENVIRONMENTAL CONSERVATION MEASURE IN CONSTRUCTION PROJECT	
J-06-00949 道路行政セミナー	149
SEMINAR ON ROAD ADMINISTRATION	

国際交通 International / Inter-regional Transportation

J-06-00318 航空保安セミナー	149
SEMINAR ON AVIATION SECURITY	

J-06-00400	航空交通管理セミナー（18年度休止） （休止） SEMINAR ON AIR TRAFFIC MANAGEMENT	150
J-06-00713	海洋利用・防災のための情報整備 INFORMATION MANAGEMENT FOR MARITIME ACTIVITY AND DISASTER PREVENTION (INTERNATIONALLY ACCREDITED FOR HYDROGRAPHIC SURVEY)	150
J-06-00744	航空通信・航法・監視（CNS）技術セミナー SEMINAR ON CNS TECHNOLOGY	151
J-06-00807	海難救助・海上防災 MARITIME SEARCH AND RESCUE AND DISASTER PREVENTION COURSE FOR POLICY PLANNERS	151
J-06-00878	空港技術・政策セミナー SEMINAR ON AIRPORT ENGINEERING POLICY	152
J-06-00977	海事国際条約及び船舶安全検査 II INTERNATIONAL MARITIME CONVENTIONS AND SHIP SAFETY INSPECTION II	152
J-06-00978	港湾開発・計画 SUSTAINABLE PORT DEVELOPMENT AND PLANNING	153
全国交通 National Transportation		
J-06-00743	情報技術応用海事教育（航海） MARITIME EDUCATION OF ADVANCED INFORMATION TECHNOLOGY (NAVIGATION)	153
J-06-00791	海運行政 SHIPPING ADMINISTRATION	154
J-06-00809	海事安全教育訓練（機関） MARITIME EDUCATION AND TRAINING FOR SAFETY MANAGEMENT (ENGINEERING)	154
J-06-00981	港湾戦略運営セミナー SEMINAR ON STRATEGIC PORT MANAGEMENT	155
J-06-03516	道路技術 ROAD ENGINEERING AND ADMINISTRATION	155
都市交通 Urban Transportation		
J-06-00781	自動車の環境・安全に関する基準・認証制度 REGULATION AND TYPE APPROVAL SYSTEM FOR SAFETY AND ENVIRONMENTAL PROTECTION OF MOTOR VEHICLE	156
J-06-00782	総合都市交通計画・プロジェクト COMPREHENSIVE URBAN TRANSPORTATION PLANNING AND PROJECT	157
J-06-00783	都市公共交通コロキウム COLLOQUIUM ON URBAN PUBLIC TRANSPORT	158
J-06-00788	自動車検査整備制度 MOTOR VEHICLE INSPECTION AND MAINTENANCE SYSTEM	158
J-06-00844	都市環境と交通 URBAN TRANSPORTATION AND ENVIRONMENT	159
J-06-00921	自動車に係わる環境問題改善：技術と施策 ENVIRONMENTAL IMPROVEMENT ON AUTOMOBILE: TECHNOLOGY AND POLICY	312
J-06-00951	鉄道経営 RAILWAY MANAGEMENT	160

その他運輸交通 Other Transportation Issues

J-06-00883 物流近代化 II.....	161
THE COURSE IN MODERNIZATION OF CARGO TRANSPORT (PHYSICAL DISTRIBUTION) II	
J-06-00948 橋梁総合コース	162
COMPREHENSIVE BRIDGE ENGINEERING	

情報通信技術 INFORMATION AND COMMUNICATION TECHNOLOGY

情報通信技術 Information and Communication Technology

J-06-00002 I P 伝送路網の構築・監視技術	165
IP BACKBONE NETWORK TECHNOLOGIES	
J-06-00012 コンピュータ（電子政府推進のための情報化戦略責任者（C I O）（A））	166
COMPUTER (CIO (CHIEF INFORMATION OFFICER) FOR E-GOVERNMENT PROMOTION (A))	
J-06-00013 コンピュータ（電子政府推進のための情報化戦略責任者（C I O）（B））	167
COMPUTER (CIO (CHIEF INFORMATION OFFICER) FOR E-GOVERNMENT PROMOTION (B))	
J-06-00014 コンピュータ（電子政府推進のためのクライアントサーバアプリケーションスペシャリスト） ..	168
COMPUTER (CLIENT SERVER APPLICATION SPECIALIST FOR E-GOVERNMENT PROMOTION)	
J-06-00016 コンピュータ（電子政府推進のためのデータベーススペシャリスト）	169
COMPUTER (DATABASE ARCHITECT SPECIALIST FOR E-GOVERNMENT PROMOTION)	
J-06-00017 コンピュータ（電子政府推進のためのネットワークスペシャリスト（A））	170
COMPUTER (NETWORK SPECIALIST FOR E-GOVERNMENT PROMOTION (A))	
J-06-00018 コンピュータ（電子政府推進のためのネットワークスペシャリスト（B））	171
COMPUTER (NETWORK SPECIALIST FOR E-GOVERNMENT PROMOTION (B))	
J-06-00019 コンピュータ（電子政府推進のためのプロジェクトマネージャー（A））	172
COMPUTER (PROJECT MANAGER FOR E-GOVERNMENT PROMOTION (A))	
J-06-00020 コンピュータ（電子政府推進のためのプロジェクトマネージャー（B））	173
COMPUTER (PROJECT MANAGER FOR E-GOVERNMENT PROMOTION (B))	
J-06-00021 コンピュータ（電子政府推進のためのセキュリティスペシャリスト）	174
COMPUTER (SECURITY SPECIALIST FOR E-GOVERNMENT PROMOTION)	
J-06-00022 コンピュータ（電子政府推進のためのW e bアプリケーションスペシャリスト （ベンダー系））	175
COMPUTER (WEB APPLICATION SPECIALIST (VENDER) FOR E-GOVERNMENT PROMOTION)	
J-06-00023 コンピュータ（電子政府推進のためのW e bアプリケーションスペシャリスト （オープンソース系）（A））	176
COMPUTER (WEB APPLICATION SPECIALIST (OPEN SOURCE) FOR E-GOVERNMENT PROMOTION (A))	
J-06-00024 コンピュータ（電子政府推進のためのW e bアプリケーションスペシャリスト （オープンソース系）（B））	177
COMPUTER (WEB APPLICATION SPECIALIST (OPEN SOURCE) FOR E-GOVERNMENT PROMOTION (B))	
J-06-00333 光線路技術.....	178
FIBER OPTICS OUTSIDE PLANT ENGINEERING	

J-06-00746	I P ネットワークアクセス技術	178
	IP NETWORK ACCESS TECHNOLOGIES	
J-06-00747	I P ネットワークサーバー設計	179
	IP NETWORK SERVER DESIGN	
J-06-00776	リモートセンシング技術（初級上－中級レベル）	179
	REMOTE SENSING TECHNOLOGY (UPPER ELEMENTARY TO INTERMEDIATE LEVEL)	
J-06-00817	総合通信網計画設計	180
	TELECOMMUNICATION NETWORK PLANNING AND DESIGNING	
J-06-00821	加入者通信線路網保守技術.....	180
	TELECOMMUNICATION SUBSCRIBER LINE NETWORK MAINTENANCE TECHNIQUES	
J-06-00855	教育・普及活動のためのデジタルビデオ教材制作	181
	DIGITAL VIDEO PRODUCTION FOR EDUCATION AND DISSEMINATION	
J-06-00856	マルチメディア利用による普及啓蒙活動の理論と実践.....	182
	THEORY AND PRACTICE ON PUBLIC ENLIGHTENMENT USING MULTIMEDIA	
J-06-00857	教育のためのマルチメディア応用技術.....	183
	APPLICATION OF MULTIMEDIA TECHNOLOGY FOR E-EDUCATION	
J-06-00894	通信線路技術者育成 II	184
	TELECOMMUNICATION OUTSIDE PLANT ENGINEERING TECHNIQUES II	
J-06-00897	電波監理行政	184
	RADIO REGULATORY ADMINISTRATION	
J-06-00945	衛星通信技術	185
	SATELLITE COMMUNICATIONS ENGINEERING	
J-06-00946	光ファイバーケーブル	185
	OPTICAL FIBER CABLE TECHNOLOGIES	
J-06-00952	I C T 幹部セミナーII（情報通信技術）	186
	ICT EXECUTIVES' SEMINAR II (INFORMATION TECHNOLOGY)	
J-06-00953	村落情報化基盤整備手法.....	187
	NETWORKING OF RURAL COMMUNITY INFORMATION INFRASTRUCTURE	
J-06-00954	電気通信政策	188
	TELECOMMUNICATIONS POLICY AND REGULATIONS	
J-06-00955	郵便事業経営セミナーII.....	188
	SEMINAR ON POSTAL SERVICE MANAGEMENT II	
J-06-00967	電気通信標準化 II	189
	TELECOMMUNICATIONS STANDARDIZATION II	
J-06-00989	情報化推進のためのリーダー育成	189
	LEADERSHIP DEVELOPMENT FOR INFORMATION SYSTEMS PROMOTION	
J-06-03497	インターネット適応技術.....	190
	INTERNET APPLIED TECHNOLOGY	
J-06-03520	農業の I T システム化技術.....	241
	THE COURSE FOR IT SYSTEM TECHNIQUES FOR AGRICULTURE	
放送 Broadcasting		
J-06-00716	テレビ番組制作（総合）	190
	TELEVISION PROGRAMME PRODUCTION (GENERAL)	

J-06-00775	テレビジョン放送技術 III.....	191
	TELEVISION ENGINEERING III	

資源・エネルギー NATURAL RESOURCES AND ENERGY

エネルギー供給 Energy Supply

J-06-00034	バイオマス有効利用技術.....	195
	RESEARCH ON BIOMASS TECHNOLOGY	
J-06-00578	ガスタービン・蒸気タービン（石炭）火力発電.....	196
	THERMAL POWER ENGINEERING FOR GAS TURBINE & COAL FIRED STEAM TURBINE	
J-06-00728	指標管理型電気事業経営.....	196
	ELECTRIC POWER MANAGEMENT BY BENCHMARKING	
J-06-00730	原子力発電基礎.....	197
	NUCLEAR POWER GENERATION BASIC COURSE	
J-06-00797	配電網整備.....	198
	THE IMPROVEMENT FOR ELECTRIC POWER DISTRIBUTION GRID	
J-06-00827	電力輸送効率化.....	199
	ECONOMICAL PLANNING AND OPERATION FOR ELECTRIC POWER TRANSMISSION	
J-06-00860	小水力及びクリーンエネルギー発電技術.....	199
	SMALL-SCALE HYDRO POWER AND CLEAN ENERGY POWER ENGINEERING	
J-06-00939	安定供給型水力発電.....	200
	HYDRO-ELECTRIC POWER ENGINEERING (FOR STABLE AND SUSTAINABLE SUPPLY)	
J-06-00983	石油、化学及び火力発電プラントの設備管理と技術基準.....	201
	PLANT ENGINEERING AND TECHNICAL STANDARD FOR REFINERIES, CHEMICAL AND FOSSIL POWER PLANTS	

省エネルギー Energy Conservation

J-06-00315	省エネルギー.....	202
	ENERGY EFFICIENCY AND CONSERVATION	

鉱業 Mining

J-06-00882	鉱山開発と持続可能な成長.....	203
	SUSTAINABLE DEVELOPMENT OF MINING	

経済政策 ECONOMIC POLICY

市場経済化 Transition to Market Economy

J-06-00896	競争法・政策研修（18年度休止）.....	207
	（休止） GROUP TRAINING COURSE ON COMPETITION POLICY AND LAW	
J-06-00943	経済政策セミナー.....	208
	SEMINAR ON ECONOMIC DEVELOPMENT POLICIES	
J-06-00995	中小企業政策セミナーII.....	209
	SEMINAR ON SMALL & MEDIUM ENTERPRISE DEVELOPMENT POLICIES II	

金融 Financial System

J-06-00853 金融制度強化セミナー	210
SEMINAR ON FINANCIAL SYSTEM	

民間セクター開発 PRIVATE SECTOR DEVELOPMENT**中小企業育成・裾野産業育成 Small and Medium Enterprises /Supporting Industries Promotion**

J-06-00722 アジア太平洋民間協力	213
BUSINESS MANAGEMENT COOPERATION IN THE ASIA-PACIFIC	
J-06-00842 生産性向上のための実践的経営管理	214
PRACTICAL CORPORATE MANAGEMENT FOR PRODUCTIVITY IMPROVEMENT	
J-06-00895 企業ネットワークによる中小企業振興 II	215
ENTERPRISE NETWORKING REGIONAL DEVELOPMENT II	
J-06-00904 中小企業振興のための技術支援 I (バイオ・高分子産業分野)	216
TECHNICAL SUPPORT FOR SME PROMOTION I (BIOTECHNOLOGY/PLASTICS TECHNOLOGY)	
J-06-00905 中小企業振興のための技術支援 II (有機化学工業／無機化学工業・金属産業分野)	216
TECHNICAL SUPPORT FOR SME PROMOTION II (ORGANIC MATERIALS/INORGANIC MATERIALS & METALS)	

産業基盤制度 Industrial Development Institution

J-06-00340 生産性向上実践技術	217
PRACTICAL PRODUCTION MANAGEMENT (THEORY & PRACTICE ON PRODUCTIVITY IMPROVEMENT)	
J-06-00719 産業標準・評価技術	217
RESEARCH ON STANDARDS, MATERIAL REFERENCE AND EVALUATION FOR INDUSTRY	
J-06-00736 A P E C 知的財産権	218
INTELLECTUAL PROPERTY FOR APEC ECONOMIES	
J-06-00767 アジア太平洋法定計量システム	219
ASIA PACIFIC LEGAL METROLOGY SYSTEM	
J-06-00778 著作権制度整備 II	220
COPYRIGHT SYSTEMS DEVELOPMENT II	
J-06-00803 投資環境法整備 II	220
ADVOCATING A LAW-ORIENTED INFRASTRUCTURE TO PROMOTE FOREIGN DIRECT INVESTMENT II	
J-06-00877 アセアン国際標準開発研修	221
ASEAN INTERNATIONAL STANDARDS DEVELOPMENT COURSE	
J-06-00879 アセアン製品認証 (I E C / C B スキーム) 実践コース	221
TRAINING COURSE ON PRODUCTION CERTIFICATION (IEC/CB SCHEME) FOR ASEAN COUNTRIES	
J-06-00940 産業技術に係る研究開発プロジェクト評価運営者の育成セミナー	222
SEMINAR FOR STAFF TRAINING ON EVALUATION MANAGEMENT OF NATIONAL R&D PROJECT	
J-06-00941 産業統計 (東アジアおよびアセアン諸国)	223
INDUSTRIAL AND COMMERCIAL STATISTICS FOR EAST ASIA AND ASEAN COUNTRIES	

産業技術 Industrial Technology

J-06-00034	バイオマス有効利用技術.....	195
	RESEARCH ON BIOMASS TECHNOLOGY	
J-06-00792	バイオインダストリーII.....	224
	BIOINDUSTRY II	
J-06-00818	非破壊検査技術 III	225
	NONDESTRUCTIVE INSPECTION TECHNIQUE FOR QUALITY MANAGEMENT & PLANT ASSET MANAGEMENT	
J-06-00860	小水力及びクリーンエネルギー発電技術.....	199
	SMALL-SCALE HYDRO POWER AND CLEAN ENERGY POWER ENGINEERING	
J-06-00861	国際溶接技術者研修	225
	TRAINING COURSES FOR THE INTERNATIONAL WELDING ENGINEER	
J-06-00986	材料性質改善処理技術 II.....	226
	HEAT TREATMENT AND METAL FINISHING TECHNOLOGY FOR IMPROVING METAL PROPERTY II	

民活・民営化 Private Initiative/Privatization

J-06-00028	公共サービスにおける民間資金・ノウハウの活用	227
	PRIVATE SECTOR INITIATIVE IN PUBLIC SERVICE	

貿易・投資促進 Trade and Investment

J-06-00731	貿易・投資促進実務（中南米）	228
	TRADE AND INVESTMENT PROMOTION SEMINAR (LATIN AMERICAN COUNTRIES)	
J-06-00732	貿易・投資促進実務（アジア）	228
	TRADE AND INVESTMENT PROMOTION SEMINAR (ASIAN COUNTRIES)	
J-06-00733	貿易・投資促進実務（アフリカ・中近東）	229
	TRADE AND INVESTMENT PROMOTION SEMINAR (AFRICAN AND MIDDLE EASTERN COUNTRIES)	
J-06-00734	貿易保険制度運用	229
	MANAGEMENT ON TRADE AND INVESTMENT INSURANCE	
J-06-00849	貿易促進 II.....	230
	FOREIGN TRADE DEVELOPMENT II	
J-06-00881	アジアにおける輸出管理運用技術向上.....	230
	IMPROVEMENTS OF IMPLEMENTATION ON SECURITY EXPORTS CONTROLS IN ASIA	
J-06-00942	観光振興とマーケティング II.....	231
	TOURISM PROMOTION AND MARKETING II: TARGETING THE JAPANESE MARKET	
J-06-00993	国際知的財産権 II	232
	INTELLECTUAL PROPERTY RIGHTS II	
J-06-03496	WTO協定・紛争解決了解の運用	232
	OPERATION OF UNDERSTANDING ON RULES AND PROCEDURES GOVERNING THE DSU, WTO AGREEMENT	
J-06-03525	地域観光開発と持続可能な観光振興.....	233
	REGIONAL TOURISM DEVELOPMENT AND SUSTAINABLE TOURISM PROMOTION	

農業開発／農村開発 AGRICULTURAL/RURAL DEVELOPMENT**農業政策・制度 Agricultural Policy and System**

J-06-00750 農業統計指導者	237
AGRICULTURAL STATISTICS COURSE FOR SENIOR STATISTICAL OFFICERS	
J-06-00758 ゼロ・エミッション型農業・農村環境システム	238
ZERO EMISSION-TYPE AGRICULTURE & ENVIRONMENTAL SYSTEM FOR RURAL AREA	
J-06-00924 植物品種保護	239
PLANT VARIETY PROTECTION	
J-06-00926 農業普及企画管理者Ⅱ（年2回実施1回目）	239
AGRICULTURAL EXTENSION PLANNING AND MANAGEMENT II	
J-06-00927 農業普及企画管理者Ⅱ（年2回実施2回目）	240
AGRICULTURAL EXTENSION PLANNING AND MANAGEMENT II	
J-06-00969 農村経済活性化に果たす農協の役割Ⅱ	240
THE ROLE OF AGRICULTURAL COOPERATIVES TO BE PLAYED IN ACTIVATION OF RURAL ECONOMY II	
J-06-00987 GIS（地理情報システム）による天然資源・農産物の管理	241
GIS (GEOGRAPHIC INFORMATION SYSTEM) TECHNOLOGY FOR SUSTAINABLE MANAGEMENT OF NATURAL RESOURCES AND AGRICULTURAL PRODUCTION	
J-06-03520 農業のITシステム化技術	241
THE COURSE FOR IT SYSTEM TECHNIQUES FOR AGRICULTURE	

農業開発 Agricultural Development

J-06-00003 アグロバイオテクノロジーⅡ	242
AGROBIOTECHNOLOGY II	
J-06-00025 草地畜産開発	242
PASTURE BASED LIVESTOCK FARMING DEVELOPMENT	
J-06-00334 循環型酪農システム	243
SUSTAINABLE DAIRY FARMING SYSTEM AND RELATED TECHNIQUES	
J-06-00714 牛人工授精普及システム	243
CATTLE ARTIFICIAL INSEMINATION EXTENSION SYSTEM	
J-06-00724 オイスカ農業者育成研修	244
OISCA FARMERS DEVELOPMENT TRAINING COURSE	
J-06-00726 畑地帯農業管理	244
FARM MANAGEMENT OF UPLAND CROPS	
J-06-00751 家畜受精卵移植技術	245
EMBRYO TRANSFER TECHNOLOGY FOR DOMESTIC ANIMAL	
J-06-00755 農業農村における持続的な水資源開発	245
SUSTAINABLE WATER RESOURCES DEVELOPMENT ON AGRICULTURAL AND RURAL AREA	
J-06-00770 植物遺伝資源の持続的利用	246
SUSTAINABLE USE OF PLANT GENETIC RESOURCES	
J-06-00771 稲研究Ⅱ	246
RICE RESEARCH TECHNIQUES II	

J-06-00799	農業生産のための遺伝子操作技術とバイオインフォマティクス	247
	INTRODUCTORY GENE MANIPULATION AND BIOINFORMATICS FOR AGRICULTURE	
J-06-00800	畜水産物生産現場における病原体検査技術.....	247
	DETECTION TECHNOLOGY OF PATHOGENS FOR FOOD ANIMALS	
J-06-00810	植物保護のための総合防除 II.....	248
	INTEGRATED PEST MANAGEMENT FOR PLANT PROTECTION II	
J-06-00824	植物検疫（ミバエ類殺虫技術）II.....	248
	PLANT QUARANTINE (THERMAL TREATMENT FOR THE DISINFESTATION OF FRUIT FLIES) II	
J-06-00826	鶏飼養管理・生産技術.....	249
	POULTRY PRODUCTION AND MANAGEMENT TECHNOLOGY	
J-06-00840	農村振興セミナー	250
	SEMINAR ON AGRICULTURAL AND RURAL DEVELOPMENT	
J-06-00850	土壌の診断と保全コース.....	251
	SOIL DIAGNOSIS AND CONSERVATION	
J-06-00858	野菜栽培技術 II	251
	VEGETABLE CULTIVATION TECHNOLOGY II	
J-06-00866	獣医技術研究 II	252
	RESEARCH ON VETERINARY TECHNOLOGY II	
J-06-00890	乾燥地水資源の開発と環境評価 II	102
	IRRIGATION WATER RESOURCES IN ARID & SEMI-ARID REGION AND E.I.A. FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT II	
J-06-00900	低投入型農業生産管理システム	252
	LOW INPUT AGRICULTURAL MANAGEMENT SYSTEM	
J-06-00903	畑地帯における農業基盤整備	253
	AGRICULTURAL INFRASTRUCTURE IMPROVEMENT IN UPLAND CROPS AREA	
J-06-00920	食の安全確保のための人畜共通感染症対策.....	254
	ADVANCED RESEARCH COURSE ON CONTROL OF ZOOZONOSIS FOR FOOD SAFETY	
J-06-00923	かんがい排水・農村開発.....	255
	IRRIGATION AND DRAINAGE FOR RURAL DEVELOPMENT	
J-06-03499	小規模農家用適正農機具開発普及	256
	DEVELOPMENT FARM MACHINERY FOR SMALL-SCALE FARMERS	
J-06-03500	かんがい排水プロジェクトの持続的管理.....	257
	SUSTAINABLE MANAGEMENT OF IRRIGATION AND DRAINAGE PROJECT	
J-06-03513	産業動物の獣医技術 II.....	258
	VETERINARY TECHNOLOGY FOR FARM ANIMALS II	
農村開発 Rural Development		
J-06-00032	熱帯バイオマス利用	258
	TROPICAL BIOMASS UTILIZATION	
J-06-00036	持続的農村開発	259
	SUSTAINABLE RURAL DEVELOPMENT	
J-06-00805	JICA-NGO連携による実践的参加型村落開発.....	260
	JICA-NGO PARTNERSHIP TRAINING COURSE ON PARTICIPATORY COMMUNITY DEVELOPMENT FOR PRACTITIONERS	

J-06-00889 農村女性能力向上 II (年 2 回実施 1 回目)	288
EMPOWERMENT OF RURAL WOMEN II	
J-06-00928 農村女性能力向上 II (年 2 回実施 2 回目)	289
EMPOWERMENT OF RURAL WOMEN II	
J-06-03511 農民参加による農業農村開発 III	260
INTEGRATED AGRICULTURE AND RURAL DEVELOPMENT THROUGH THE PARTICIPATION OF LOCAL FARMERS III	
その他農業開発・農村開発 Other Agricultural/Rural Development Issues	
J-06-00001 マイコトキシン検査技術 II.....	261
MYCOTOXIN INSPECTION IN FOOD II	
J-06-00039 食品保健行政	68
FOOD SANITATION ADMINISTRATION	
J-06-00772 米の収穫後処理技術 II.....	261
POST-HARVEST RICE PROCESSING II	
J-06-00808 食品微生物検査技術 II.....	262
MICROBIAL INSPECTION FOR FOOD SAFETY II	
J-06-00847 食品の安全性確保 II	75
ASSURANCE OF FOOD SAFETY AND QUALITY CONTROL II	
J-06-00909 食品衛生行政研修	78
STUDY PROGRAMME ON FOOD SANITATION MANAGEMENT	
J-06-00918 畜産食品の危害リスク管理.....	262
HAZARD ANALYSIS MANAGEMENT FOR ANIMAL FOOD	
J-06-00990 生鮮食料品流通 (青果物)	263
DISTRIBUTION OF FRESH FRUIT AND VEGETABLES (FOCUSED ON WHOLESALE MARKETS)	
J-06-03518 畜産物の利用と保蔵技術 II.....	263
UTILIZATION AND PRESERVATION TECHNIQUES FOR ANIMAL PRODUCTS II	
J-06-03527 食品加工・保全技術 III.....	264
FOOD PROCESSING AND PRESERVATION TECHNOLOGY III	

自然環境保全 NATURE CONSERVATION**持続的自然資源利用 Sustainable Use of Natural Resources**

J-06-00015 マングローブ生態系の持続可能な管理と保全	267
CONSERVATION AND SUSTAINABLE MANAGEMENT OF MANGROVE ECOSYSTEMS	
J-06-00031 持続可能な開発のための環境教育－沿岸生態系と住民生活の保全－	268
ENVIRONMENTAL EDUCATION FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT-CONSERVATION OF COASTAL ECOSYSTEMS FOR LIVES OF LOCAL COMMUNITIES-	
J-06-00036 持続的農村開発	259
SUSTAINABLE RURAL DEVELOPMENT	
J-06-00749 森林研究 II.....	269
FOREST RESEARCH II	
J-06-00756 自然公園の管理・運営と利用 (エコツアー)	269
MANAGEMENT OF ECOTOURISM AND SUSTAINABLE USE OF NATURAL PARKS	

J-06-00765	地域流域環境管理 II	270
	ENVIRONMENTAL MANAGEMENT OF REGIONAL DRAINAGE BASIN	
J-06-00843	熱帯・亜熱帯地域におけるエコツーリズム企画・運営	270
	PLANNING & MANAGEMENT OF ECO-TOURISM IN TROPICAL AND SUBTROPICAL AREA	
J-06-00919	共生による森林保全	271
	FOREST MANAGEMENT THROUGH COEXISTENCE	
J-06-00968	持続可能な森林経営の実践活動促進 II	271
	PRACTICAL CASE STUDIES ON SUSTAINABLE FOREST MANAGEMENT II	
J-06-00970	森林流域環境、水土保持技術	272
	FOREST WATERSHED ENVIRONMENT, SOIL AND WATER CONSERVATION TECHNOLOGY	
生物多様性保全 Conservation of Biodiversity		
J-06-00011	サンゴ礁生態系の保全管理（アジア・太平洋地域）	272
	MANAGEMENT AND CONSERVATION OF CORAL REEF ECOSYSTEM IN ASIA PACIFIC REGION	
J-06-00735	熱帯海洋生物多様性の保全と持続的利用技術	273
	CONSERVATION AND SUSTAINABLE USE OF TROPICAL MARINE BIOLOGICAL DIVERSITY	
J-06-00759	自然体験を通じた環境教育トレーニング	61
	ENVIRONMENTAL EDUCATION THROUGH A NATURE EXPERIENCE	
J-06-00789	生物多様性情報システム	273
	BIODIVERSITY INFORMATION SYSTEM	
J-06-00865	湿地における生態系・生物多様性とその修復・再生及び賢明な利用	274
	CONSERVATION, RESTORATION AND WISE-USE OF WETLAND ECOSYSTEMS AND THEIR BIOLOGICAL DIVERSITY	
J-06-00988	湖沼環境保全のための統合的流域管理	320
	INTEGRATED BASIN MANAGEMENT FOR LAKE ENVIRONMENT	
その他自然環境保全 Other Nature Conservation Issues		
J-06-00991	水環境を主題とする環境教育 II	329
	ENVIRONMENTAL EDUCATION FOCUSED ON FRESH WATER ENVIRONMENT	
	～ FOR TERTIARY LEVEL TEACHING STAFF ～	

水産 FISHERIES

水産資源管理 Fisheries Resource Management

J-06-00735	熱帯海洋生物多様性の保全と持続的利用技術	273
	CONSERVATION AND SUSTAINABLE USE OF TROPICAL MARINE BIOLOGICAL DIVERSITY	
J-06-00752	沿岸漁業の統合的な管理手法	277
	INTEGRATED MANAGEMENT FOR COASTAL FISHERIES	
J-06-00863	沿岸漁業資源管理	278
	COASTAL FISHERIES RESOURCE MANAGEMENT	
J-06-00975	持続可能な沿岸漁業 II	279
	COASTAL FISHING TECHNIQUE FOR SUSTAINABLE RESOURCE USE II	

漁村開発 Rural Development in Fisheries

J-06-00852	漁業コミュニティ開発計画	280
	PLANNING OF FISHERIES COMMUNITY DEVELOPMENT	

水産増養殖 Stock Enhancement and Aquaculture

J-06-00336	資源培養のための栽培漁業.....	281
	MARINE FARMING FOR STOCK ENHANCEMENT	
J-06-00351	養殖魚の健康と安全管理.....	281
	PREVENTION OF CULTURED FISH DISEASE AND FISH-BORNE DISEASE	
J-06-00848	持続的増養殖開発 II	282
	SUSTAINABLE AQUACULTURE DEVELOPMENT II	
その他水産 Other Fisheries Issues		
J-06-00720	冷凍機保守.....	282
	MAINTENANCE OF REFRIGERATION SYSTEM	

ジェンダーと開発 GENDER AND DEVELOPMENT**ジェンダーと開発 Gender and Development**

J-06-00009	「環境と開発と男女共同参画」セミナー.....	285
	SEMINAR ON GENDER PERSPECTIVE IN ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT	
J-06-00033	女性の生活と地位向上に寄与するリーダーの養成	285
	SEMINAR FOR LEADERS OF IMPROVEMENT OF WOMAN'S LIFE STYLE	
J-06-00723	ジェンダー主流化政策のための行政官セミナー	286
	SEMINAR ON GENDER MAINSTREAMING FOR GOVERNMENT OFFICERS	
J-06-00748	男女共同参画推進セミナーII	286
	SEMINAR FOR PROMOTION OF GENDER EQUALITY II	
J-06-00862	オイスカ農村女性の生活改善と村づくり研修	287
	OISCA RURAL LIFE IMPROVEMENT AND RURAL DEVELOPMENT FOR WOMEN	
J-06-00889	農村女性能力向上 II (年2回実施1回目)	288
	EMPOWERMENT OF RURAL WOMEN II	
J-06-00928	農村女性能力向上 II (年2回実施2回目)	289
	EMPOWERMENT OF RURAL WOMEN II	
J-06-00930	女性起業家育成のための指導者セミナーII.....	290
	SEMINAR ON WOMEN'S ENTREPRENEURSHIP DEVELOPMENT TRAINING FOR LEADERS II	
J-06-00976	漁村開発におけるジェンダー主流化.....	291
	GENDER MAINSTREAMING IN FISHING COMMUNITY DEVELOPMENT	
J-06-03509	女性の教育推進セミナーII.....	291
	SEMINAR ON THE PROMOTION OF EDUCATION FOR GIRLS AND WOMEN II	

都市開発・地域開発 URBAN/REGIONAL DEVELOPMENT**都市開発 Urban Development**

J-06-00325	都市整備.....	295
	URBAN DEVELOPMENT (LAND READJUSTMENT)	
J-06-00708	建設機械及び建設施工監理.....	296
	CONSTRUCTION EQUIPMENT AND MECHANIZED CONSTRUCTION MANAGEMENT	

J-06-00711	建築基準と規制システム（建築物の安全性と環境社会配慮）	297
	BUILDING CODES AND CONTROL SYSTEMS (BUILDING SAFETY AND SOCIAL/ENVIRONMENTAL CONSIDERATION)	
J-06-00768	国土技術マネジメント幹部セミナー	298
	EXECUTIVES' SEMINAR ON PUBLIC WORKS AND MANAGEMENT	
J-06-00798	建設事業における環境保全対策	298
	ENVIRONMENTAL CONSERVATION MEASURE IN CONSTRUCTION PROJECT	
J-06-00801	都市緑化行政 II	299
	URBAN GREENERY AND PARK ADMINISTRATION II	
J-06-00947	都市計画総合	300
	COMPREHENSIVE CITY PLANNING	
J-06-00949	道路行政セミナー	149
	SEMINAR ON ROAD ADMINISTRATION	
J-06-00950	住宅・住環境改善	301
	IMPROVEMENT OF HOUSING AND LIVING ENVIRONMENTS	
J-06-00951	鉄道経営	160
	RAILWAY MANAGEMENT	
J-06-00979	建設技術の開発・応用セミナー	302
	SEMINAR ON DEVELOPMENT AND APPLICATION OF CONSTRUCTION ENGINEERING	
J-06-00980	国土・地域開発政策 II	302
	NATIONAL AND REGIONAL DEVELOPMENT POLICY II	
J-06-03512	地域土木行政セミナーIII	303
	SEMINAR ON PUBLIC WORKS ADMINISTRATION IN REGIONAL GOVERNMENT III	
J-06-03530	公共事業の計画・管理・評価	303
	PROJECT MANAGEMENT AND EVALUATION FOR CIVIL ENGINEERS IN PUBLIC WORKS	
地域開発 Regional Development		
J-06-00727	参加型地域社会開発の理論と実践	304
	PARTICIPATORY LOCAL SOCIAL DEVELOPMENT:THEORIES AND PRACTICE	
J-06-00764	地域開発計画管理 II	304
	GENERAL MANAGEMENT FOR REGIONAL DEVELOPMENT AND PLANNING	
J-06-00984	参加型地域社会開発のプロジェクト計画・管理 II	305
	PARTICIPATORY LOCAL SOCIAL DEVELOPMENT:PROJECT PLANNING AND MANAGEMENT II	
地理情報 Geographical Information		
J-06-00874	地球地図作成技術：地球地図整備に貢献することを目指した地理情報システム	306
	GLOBAL MAPPING:CONTRIBUTION TO GLOBAL MAPPING DEVELOPMENT BY GIS	
J-06-00922	国家測量事業計画・管理	307
	PLANNING AND MANAGEMENT OF NATIONAL MAPPING AND SURVEYING	
その他都市開発・地域開発 Other Urban and Regional Development Issues		
J-06-00948	橋梁総合コース	162
	COMPREHENSIVE BRIDGE ENGINEERING	

環境管理 ENVIRONMENTAL MANAGEMENT**環境行政一般 Environmental Administration**

J-06-00026	化学物質管理政策研修.....	311
	CHEMICAL MANAGEMENT POLICY	
J-06-00917	地域環境保全対策と技術.....	311
	REGIONAL MEASURES AND METHODS FOR POLLUTION CONTROL FOR ENVIRONMENTAL ENGINEERS	
J-06-00921	自動車に係わる環境問題改善：技術と施策.....	312
	ENVIRONMENTAL IMPROVEMENT ON AUTOMOBILE: TECHNOLOGY AND POLICY	
J-06-00992	環境政策・環境マネジメントシステム II.....	313
	ENVIRONMENTAL POLICY AND ENVIRONMENTAL MANAGEMENT SYSTEM II	
J-06-03515	都市生活型の環境問題.....	314
	MEASURES AGAINST URBAN ENVIRONMENTAL PROBLEMS	

大気汚染・酸性雨 Air Pollution/Acid Rain

J-06-00854	大気汚染対策 II	315
	AIR POLLUTION CONTROL II	
J-06-00864	大気保全政策 II	315
	AIR QUALITY MANAGEMENT POLICY II	
J-06-00937	オゾン層保護対策セミナーII	316
	SEMINAR ON OZONE LAYER PROTECTION II	

水質汚濁 Water Pollution

J-06-00006	生活排水対策 II	316
	DOMESTIC WASTE WATER TREATMENT TECHNIQUES II	
J-06-00007	住民との協働による環境都市づくり（公害の経験から）.....	317
	CONSTRUCTION OF A MODEL ENVIRONMENTAL CITY BY COMMUNITY PARTICIPATION: THROUGH THE LESSONS FROM INDUSTRIAL POLLUTION	
J-06-00762	下水道維持管理 II	317
	OPERATION & MAINTENANCE OF SEWERAGE FACILITIES II	
J-06-00779	下水道技術・都市排水コース	318
	SEWAGE WORKS ENGINEERING AND STORMWATER DRAINAGE TECHNOLOGY	
J-06-00815	産業廃水処理技術 II	319
	INDUSTRIAL WASTEWATER TREATMENT TECHNIQUES II	
J-06-00822	海洋環境保全 II	319
	MARINE ENVIRONMENT PROTECTION II	
J-06-00962	水環境モニタリング II.....	320
	WATER ENVIRONMENTAL MONITORING II	
J-06-00988	湖沼環境保全のための統合的流域管理.....	320
	INTEGRATED BASIN MANAGEMENT FOR LAKE ENVIRONMENT	
J-06-00997	閉鎖性海域の水環境管理技術 II	321
	SYSTEM OF ENVIRONMENTAL MANAGEMENT OF ENCLOSED COASTAL SEAS II	

J-06-03074	工業用水使用合理化及び廃水再生利用（18年度休止）	321
	（休止） EFFECTIVE USE OF INDUSTRIAL WATER AND RE-USE OF WASTE WATER	
一般廃棄物 Urban Solid Wastes		
J-06-00802	都市廃棄物処理 II	322
	URBAN SOLID WASTE MANAGEMENT II	
J-06-00974	廃棄物総合管理セミナーII	322
	SEMINAR ON COMPREHENSIVE SOLID WASTE MANAGEMENT II	
J-06-03121	廃棄物3R・再資源化	323
	WASTE MANAGEMENT AND 3RS (REDUCE, REUSE, RECYCLE) POLICY	
J-06-03526	廃棄物管理総合技術 II	323
	COMPREHENSIVE WASTE MANAGEMENT TECHNIQUE II	
クリーナー プロダクション Cleaner Production		
J-06-00885	クリーナープロダクションのための保全管理 II	324
	PLANT MAINTENANCE MANAGEMENT FOR CLEANER PRODUCTION II	
J-06-00886	コンピューターによる機械制御	
	ークリーナープロダクションのための高度設備システムの構築ーII	324
	COMPUTERIZED MACHINE CONTROL FOR MECHANICAL AUTOMATION-SYSTEMATIZATION OF INDUSTRIAL PLANT EQUIPMENT	
地球温暖化 Global Warming		
J-06-00572	地球温暖化対策コース	325
	DEVELOPMENT OF STRATEGIES ON CLIMATE CHANGE	
J-06-00793	京都メカニズムプロジェクト担当者養成	326
	CAPACITY BUILDING FOR PROJECT STAFF REGARDING KYOTO MECHANISM	
その他環境管理 Other Environmental Management Issues		
J-06-00729	環境調和技術	326
	RESEARCH ON ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY	
J-06-00811	環境負荷化学物質の分析技術及びリスク評価	327
	RISK ASSESSMENT AND MONITORING FOR ENVIRONMENTAL CHEMICALS	
J-06-00823	衛生環境分析技術者 II	91
	HEALTH AND ENVIRONMENTAL TECHNOLOGISTS II	
J-06-00936	ODAにおける環境影響評価に係る集団実務研修	327
	GROUP TRAINING COURSE ON ENVIRONMENTAL IMPACT ASSESSMENT FOR ODA PROJECT	
J-06-00938	環境放射能分析・測定技術	328
	ENVIRONMENTAL RADIOACTIVITY ANALYSIS AND MEASUREMENT TECHNIQUE	
J-06-00982	化学産業における環境管理技術 II	328
	ENVIRONMENTAL MANAGEMENT TECHNOLOGY IN CHEMICAL INDUSTRIES II	
J-06-00991	水環境を主題とする環境教育 II	329
	ENVIRONMENTAL EDUCATION FOCUSED ON FRESH WATER ENVIRONMENT	
	～ FOR TERTIARY LEVEL TEACHING STAFF ～	
J-06-03524	環境中の有害汚染物質対策	329
	HEAVY METAL AND OTHER HAZARDOUS SUBSTANCE POLLUTION CONTROL	

援助アプローチ AID APPROACH

援助効果・援助手法 Development Assistance Strategy

J-06-00833 円借款プロジェクト評価セミナー	333
SEMINAR ON EVALUATION OF JAPAN'S ODA LOAN PROJECTS	
J-06-00835 公的資金協力セミナー	333
SEMINAR FOR JBIC'S OFFICIAL FINANCIAL COOPERATION	
J-06-00838 環境改善・公害対策融資セミナー（円借款事業連携）	334
SEMINAR FOR ODA LOAN IN ENVIRONMENTAL IMPROVEMENT AND ANTI-POLLUTION MEASURES	

1. 集団研修について

集団研修について

1. 集団研修の特徴

JICA の研修員受入事業は、日本国内において実施される技術協力として年間 8 千人を越える開発途上国の関係者が参加しています。このうち、複数の国々から参加を得て実施される集団研修は、日本側で内容を企画し、途上国側に提案するもので、2006 年度は幅広い分野で全 360 件が実施される予定です。

集団研修は、日本国内で実施され、多数の国々が参加する事業として、また、日本の関係機関による入念な準備の下で行われる事業として、次のような特徴を持っています。

- (1) 専門家や調査団員として派遣することが難しい第一線の実務者や著名な有識者に接し、知識のみならず、思いや経験を共有する「場」となる。
- (2) 日本社会に身を置き、対話や視察などの直接経験を通じて、言葉や文字では理解し難い日本独自の価値や概念に気づく「場」となる。
- (3) 参加国の間で思いや経験を共有し共通認識を形成する「場」となる。

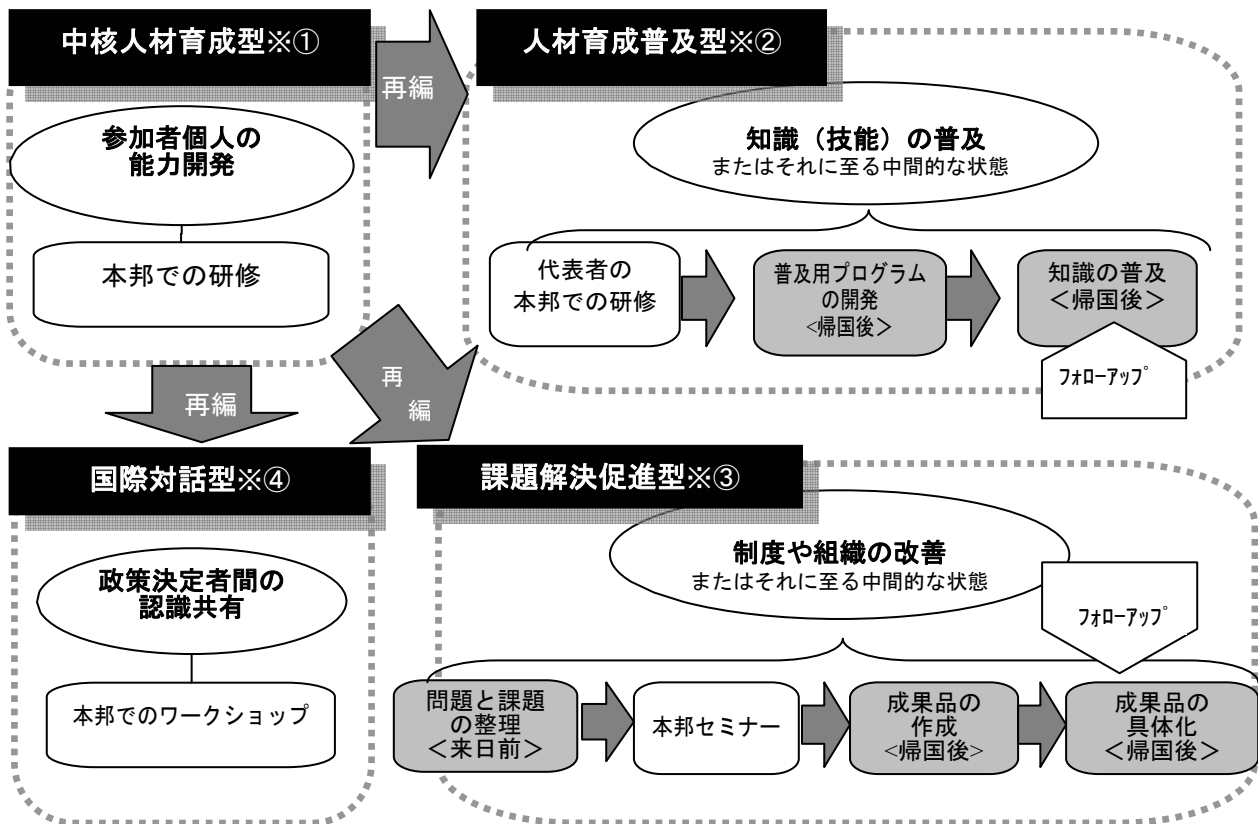
こうした強みを持つ集団研修は、しかしながら、単発の協力としては効果が限定されます。他の技術協力や資金協力と組み合わせることで、開発途上国の課題解決に効果的に役立てていただくことができます。

2. 変わる集団研修 ～「人作り」から途上国の課題解決へ～

集団研修は、わが国の政府開発援助の中で最も長い歴史を持つ事業形態ですが、開発途上国のニーズの変化を踏まえて、平成17年3月にとりまとめられたJICA国内事業改革の下で、事業形態の面で抜本的な改善が加えられました。

これまでの集団研修は、中堅人材の能力向上に焦点をあて、協力活動も本邦で完結していました。開発途上国が日本に人材を送る理由は、同人の育成に限られたものではありません。新たな知識を広く普及することや、日本の経験を参考に政策を立案することなど、様々な理由が想定されます。こうした組織や社会の次元のニーズに応えるためには、日本でのプログラム内容の質を高め、その終了後も継続的に支援することが必要とされます。

こうした観点から、下図のように、これまでの人材育成を目的として日本国内で完結していた研修を、知識の普及や課題解決策の創造を目的とし、継続的に支援するものに再編しました。また、ハイレベルの参加者が知識を習得するというよりは互いに知見を共有する国際対話の場にも組み替えたものもあります。これらの再編された案件は、もはや伝統的な「個人の技術研修」とは大きく変わったものとなっており、関係機関の協力を得て特別な工夫がなされています。



①中核人材育成型	途上国の組織で中核となる人材の能力向上を目標とする研修
②人材育成普及型	研修参加者を通じて現地の多数の人材の能力向上（普及）を目標とする研修
③課題解決型	組織の業務改善やプロジェクトの形成、政策・制度の形成などの組織や社会の課題解決を直接の目標とする研修
④国際対話型	国際的なネットワークまたは合意の形成を目標とする研修

19年度の集団研修は、これまでの「人づくり」協力の標準的な「型」を以上のように弾力化し、メリハリを付けることで、より幅広い途上国側のニーズにきめ細かく対応できるよう改善されています。手間をかけ質を高めた分、途上国側のより主体的な関与を想定しています。とりわけ、「②人材育成普及型」と「③課題解決型」の案件は、研修員個人を対象としたものではないため、研修員を送り出す前の準備や研修員帰国後の成果の活用について、組織的に取組んでいただくことを想定しています。これらの研修について、本冊子では、来日前後の研修プログラムや実施に必要な組織的な関与を説明するために各プログラムにつき1ページを割いて記載していますので、案件の要請及び応募の際には上述の点をご確認下さい。

3. 集団研修の活用方法 ～過去のインパクト事例より～

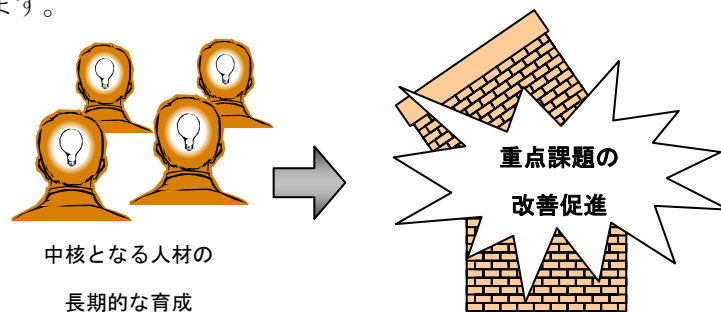
集団研修は、単発では効果が限られますが、他の技術協力や資金協力を結びつけることにより、大きなインパクトを生み出すことができます。また、途上国側の気づきを触発し、自律的な問題解決の取組みを促進するうえで、時として専門家や調査団では成しえないことにも対応でき、政策・制度支援の方途として強みを持つ場合があります。

以下に紹介する事例は、各国の状況や進行中の事業に応じて集団研修を戦略的に活用することによって、大きなインパクトが発現したものです。集団研修の強みを活かしていただくことで、途上国の課題解決に有効に役立てていただくことができます。

例1 国の重要開発課題において中核となる人材の長期的な育成 ～ミャンマー 結核対策～

結核がマラリアに次いで深刻な感染症とされているミャンマーでは、1976年度から約30年に渡り、結核対策関連の研修（「ストップ結核アクション研修」、「国家結核プログラム管理」等）に計32名の参加者を派遣しています。

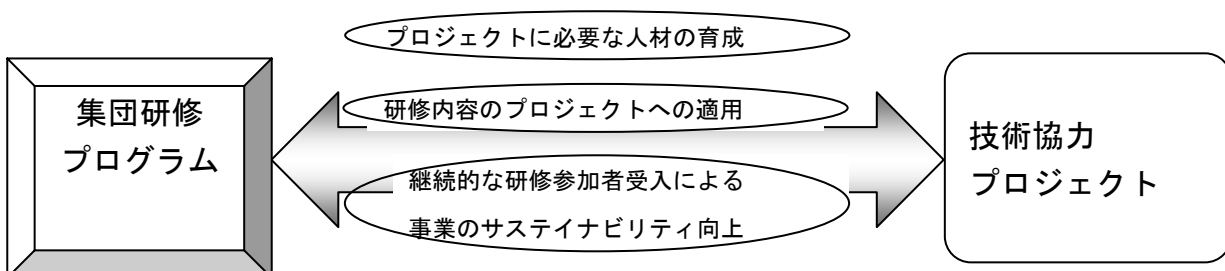
その結果、研修参加者が帰国後に結核対策分野において重要な地位を占めるようになり、国家結核計画に関連した「ミャンマー国結核コントロール5ヵ年計画（2006～2010年）」を中心となって策定するに至りました。また、JICAの技術協力プロジェクト「主要感染症対策」の活動にも継続的に関与しています。



例2 集団研修とプロジェクトとの連携 ～インドネシア 村落開発～

インドネシアでは、JICAの技術協力プロジェクト「スラウェシ貧困対策村落開発計画（1997-2002）」の実施にあたり、現地関係者が集団研修「参加型地域社会開発の理論と実践」に参加し、プロジェクト実施に必要な人材が育成されました。

その後、現地の元参加者と本邦の研修実施機関の間で相互の協力体制を確立し、プロジェクト終了後もインドネシアから適切な人材を研修に派遣することにより、事業の持続性（持続性）を向上させています。

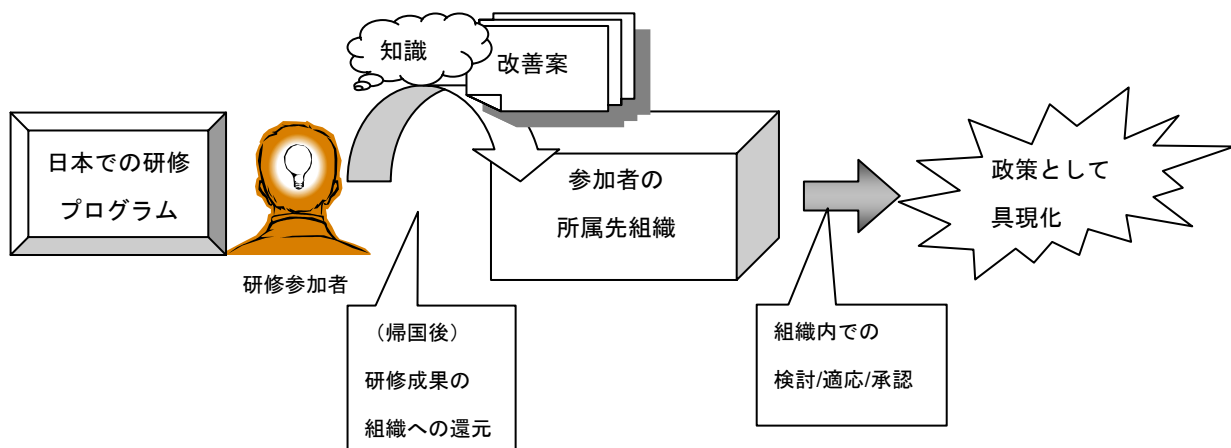


例3 研修成果の政策への反映 ～バングラデシュ 税制、ソロモン 森林政策～

バングラデシュでは、1992年に集団研修「国際税務行政セミナー」に参加した当時の税務局長が帰国後、研修で得た知識を参考に出国税の徴税方法にかかる改正案を起草しました。

また、太平洋の島嶼国ソロモンでは、集団研修「共生による森林保全 (Forest Management Through Cohabitation)」に参加した森林・環境・保護局の担当官補が森林保護・再生のための行動計画案を策定し、これが部局の年間計画に採用され、伐採傾向にあった同国の森林政策の転換をはかられています。これらの事例では、研修の成果が途上国の組織・機関において共有され、組織計画や政策にまで結びついています。

日本の経験は直接的には適用できませんが、途上国側の独自の知識創造の触媒となります。



2. 集団・地域別研修プログラム間 関係整理票

集団・地域別研修プログラム間関係性整理票について

1 プログラム間関係性整理票の性質

集団研修の在外における戦略的な使い勝手を向上し、各国における重点的な協力プログラムへの組み込みと適切なニーズリソースマッチングの促進を図ることを目的に、2006年度集団研修プログラム概要から「プログラム間関係性整理票」を新たに盛り込みました。

整理票では、基本的に縦軸に目標を、横軸に対象者を設定して、各々の研修がどの目標、対象者をターゲットとしているのか、課題ごとに鳥瞰図的な把握が可能となるように工夫しています。また、準高級案件（本国政府中央官庁の課長以上局長以下又はこれに準ずる地位にあり、それぞれの地位・身分等から、実施上特別の配慮が必要と認められる者を対象とする案件）については、研修名に網掛けを付しています。

集団研修の要望調査等において、本整理票を効果的に活用いただくことを期待します。

2 プログラム間関係性整理票活用時における留意事項

プログラム間関係性整理票の活用にあたっては、以下の事項に留意願います。

- (1) 整理票は、プログラム間の関係性についての理解を促進するために、JICA案として試行的に作成しているものです。順次整理票の作成に取り組んでいるところですが、現段階では全ての案件が整理票でカバーされているわけではありません。したがって、要望調査等においては、整理票のみならず、概要全体を十分に活用いただくようお願いします。
- (2) 整理票において「地域別コース」として記載されている研修については、その概要は本「集団研修プログラム概要」には掲載されていません。2006年度の地域別研修の概要情報については、本冊子とは別途送付する「地域別研修概要」を参照願います。

基礎教育

目標	対象者	政策立案・制度構築（行政官）	技術習得（専門官・教官・教員）
初中等教育の拡充	就学促進		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">中等科学教育実技 II J0600004</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">小学校における理科実験教育（南西アジア諸国） J0604009</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">初等中等算数・数学教育向上（南太平洋地域特設） J0604037</div>
	質の向上	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">学校保健 J0600038</div>	
教育格差是正	男女格差是正	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">女性の教育推進セミナーII J0603509</div>	
	都市・農村 落差是正 特別な配慮を要する児童	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">障害児教育(中南米) J0604010</div>	
青年・成人の学習ニーズの充足	識字 ライフスキルの習得		
就学前教育・乳幼児ケア	就学前教育拡充	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">幼児教育(仏語圏アフリカ) J0604053</div>	
教育マネジメント改善	教育行政システム強化	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">アフリカ「研究と対話による自立的な基礎教育開発の促進」 J0604146</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">中等教育開発 II J0600888</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">仏語圏アフリカ「教育行政」 J0604003</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">日本の教育経験(中米) J0604040</div>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">地方教育行政セミナー(サブ・サハラアフリカ諸国)II J0600721</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">サブ・サハラアフリカ地域における学校運営改善 J0604016</div>	

教員研修

教育制度全般

教育マネジメント

集団コース

地域別コース

職業訓練・産業技術教育

対象者 目標	行政官幹部	教員・指導員	学校・訓練校の 校長
産業人材 の育成	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">職業能力開発行政セミナー J0600346</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">産業技術教育 II J0600891</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">日本の T V E T 概論</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">職業訓練向上セミナーII J0600869</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;">職業訓練管理 セミナー J0600345</div>
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">産業界との 連携強化</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">訓練手法の向上</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">技術力の向上</div>
生計向上のた めのスキル・ ディベロップメント			

*TVET : Technical and Vocational Education and Training

集団コース

集団コース
(精高級対象)

リプロダクティブ・ヘルス

対象者 目標	中央・地方の行政官・医官	病院・医療施設の医療従事者、管理者	コミュニティ/NGO
妊産婦の健康改善	<p>「子どもの死亡削減と国際協力」セミナー／ミレニアム開発目標の達成をめざして J0600717</p> <p>健康と栄養改善のための女性指導者研修 J0603519</p> <p>ワクチン予防可能な疾患の疫学及び対策セミナー～ポリオ、麻疹、B型肝炎対策及び新ワクチン導入～ J0600880</p> <p>母子保健(仏語圏アフリカ) J0604051</p> <p>リプロダクティブ・ヘルス行動変容戦略ワークショップ(アフリカ) J0604122</p>	<p>農村女性能力向上 II J0600889, J0600928</p> <p>地域母子保健強化(南米) J0604013</p> <p>中南米新生児マス・スクリーニング開始サポートコース J0604130</p> <p>地域母子保健強化(南米) J0604013</p> <p>看護指導者育成 J0600255</p> <p>母子保健人材育成 J0600757</p> <p>アフリカ母子保健看護管理 J0604107</p>	<p>リプロダクティブ・ヘルス NGO 指導者セミナー(自立を目指したNGOの能力強化) J0600707</p> <p>オイスカ農村女性の生活改善と村づくり研修 J0600862</p> <p>思春期保健セミナー(若者参加と環境づくりにむけて) J0600868</p> <p>リプロダクティブ・ヘルス行動変容戦略ワークショップ(アフリカ) J0604122</p>
乳幼児の死亡・疾病の低減	<p>環境汚染の低減</p>	<p>HIV 感染者のケアとマネジメントのための高度診断技術 J0600787</p> <p>AIDS/ATL の疫学及び対策セミナー J0600820</p>	
望まない妊娠の低減			
性感染症・HIV/エイズへの対策			
女性特有の健康問題改善・不妊対策			
ジェンダー間の平等と女性のエンパワーメント	<p>女性の教育推進セミナー II J0603509</p>	<p>農村女性能力向上 II J0600889, J0600928</p>	
RHの改善に対する体制整備	<p>母子保健(仏語圏アフリカ) J0604051</p> <p>地域母子保健強化(南米) J0604013</p>		

グループコース

地域別コース

防災

災害種/分類	<p style="text-align: center;">災害マネジメントサイクル</p>		対象者
防 災	<p>防災行政管理者セミナーII J0600999</p> <p>防災行政 J0604047</p> <p>中米防災対策 J0604133</p> <p>地震津波火山観測システムの運用・管理 J0600035</p> <p>防災教育研修 J0604005</p>	<p>インフラ施設の自然災害に対する抑止・軽減対策及び復旧対策 J0603521</p>	<p>行政官</p> <p>技術者 研究者</p> <p>教育省庁行政官 学校校長</p>
震 災	<p>大都市地震災害軽減のための総合戦略 J0600892</p> <p>地震・耐震・防災工学 J0600875</p> <p>グローバル地震観測 III J0600887</p>		<p>行政官</p> <p>技術者 研究者</p>
津 波	<p>インド洋津波早期警戒体制構築に向けた JICA 地域別研修 J0604149</p>		<p>技術者</p>
風水害	<p>地域別研修「洪水ハザードマップ作成」 J0604064</p>		<p>技術者 研究者</p>
火 山	<p>火山学・総合土砂災害対策 J0600876</p>		<p>行政官 技術者 研究者</p>
気象・気候	<p>気象学 J0600780</p>		<p>気象学者</p>
災害医療	<p>アンテレス災害医療マネジメント J0604118</p> <p>救急・大災害医療セミナー II J0600796</p> <p>災害後のメンタルヘルスサービス研修 J0604139</p>		<p>行政官 医師</p>
消防・救助	<p>火災予防技術 II J0600933</p> <p>消火技術 II J0600814</p> <p>救急救助技術 J0600342</p> <p>海難救助・海上防災 J0600807</p> <p>消防行政に携わる幹部との交流セミナー J0600829</p>		<p>行政官</p> <p>消防士</p> <p>捜索・救助専門家</p> <p>行政官 捜索・救助専門家</p> <p>消防担当官庁幹部</p>

集团コース

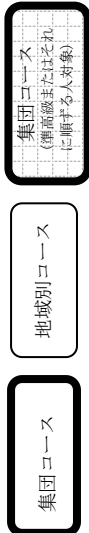
地域別コース

集团コース
(準高級対象)

障害者支援

目標	対象者	行政官	NGOs	障害者施設	コミュニティ	技術者
教育	訓練・雇用		<p>★視覚障害者自立支援のためのマッサージ指導者育成研修 (アジア太平洋) J0600760</p> <p>★職業リハビリテーションと障害者の就労 J0600872</p> <p>★聾者のための指導者Ⅱ J0600030</p>		<p>★障害者リーダー育成コース J0600430</p>	<p>補装具製作技術 J0600321</p> <p>医療技術スタッフ練成 コースⅡ J0600998</p>
エンパワメントのための条件・環境整備	福祉(行政サービス・福祉用具の開発、改良、及び普及・情報/コミュニケーション・保健医療・障害原因の予防・早期発見及び研究・医療リハビリテーション医療)	<p>アジア諸国高級事務レベル社会福祉行政研修 J0600907</p>	<p>★障害者リーダー育成コース J0600430</p> <p>★南部アフリカ地域障害者の地位向上 J0604050</p>		<p>★障害者リーダー育成コース J0600430</p>	
	スポーツ・レクリエーション・文化活動		<p>★障害者スポーツを通じた社会統合 J0600958</p>			
	啓発・広報					
	生活環境		<p>★南部アフリカ地域障害者の地位向上 J0604050</p>			
	CBR			<p>知的障害福祉Ⅱー知的障害と共生する地域開発を目指してー</p>	<p>J0600956</p>	

★障害者のための直接支援を実施している研修



運輸交通：一般交通

対象者 目標	政府行政官	技術者・実務者
道路輸送の改善	<div data-bbox="756 394 1217 499" style="border: 2px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">道路技術 J0603516</div>	
インフラの改善	<div data-bbox="539 562 1072 696" style="border: 2px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">道路行政セミナー J0600949</div> <div data-bbox="400 786 852 898" style="border: 2px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">地域土木行政セミナーⅢ J0603512</div> <div data-bbox="967 730 1487 831" style="border: 2px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">橋梁総合コース J0600948</div> <div data-bbox="967 864 1487 965" style="border: 2px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">建設機械及び建設施工監理 J0600708</div> <div data-bbox="967 999 1487 1099" style="border: 2px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">建設技術の開発・応用セミナー J0600979</div> <div data-bbox="967 1133 1487 1234" style="border: 2px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">建設事業における環境保全対策 J0600798</div>	
交通輸送手段の改善	<div data-bbox="416 1379 900 1469" style="border: 2px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">物流近代化Ⅱ J0600883</div>	

集団コース

運輸交通：都市交通

対象者 目標	行政レベルの政策立案者	現場レベルの実務者		
都市交通輸送の改善	総合都市交通計画・プロジェクト J0600782	都市公共交通コロキウム J0600783		
公共交通サービスの改善			*鉄道経営計画 J0600951	
個別自動車の交通需要 (TDM)		都市環境と交通 J0600844	自動車検査整備制度 J0600788	
交通安全対策の強化				自動車の環境・安全に関する基準・認証制度 J0600781
都市交通による環境悪化の防止・改善				

集团コース

*「鉄道経営計画」については、鉄道会社の企画及び経営部門を対象としている。

情報通信技術

開発課題：IT人材の育成

中間目標：技術者・講師の育成

中間目標のサブ目標：SE人材の育成

グループコース

地域別コース

専門分野	業種	ITスペシャリスト			アプリケーションスペシャリスト		
		データベース	ネットワーク	セキュリティ	ベンダー系	オープンソース系	アプリケーション+データベース
ハイレベル (専門分野にかかる技術や開発、経営をリード。スキル開発においても、組織戦略の策定・実行に貢献。)	経営者レベル						
	局長レベル						
チームリーダーレベル	部長レベル						
	チームリーダーレベル	<p>コンサルタント (システム開発上流工程：経営戦略策定時に経営目標、戦略策定、解決策の考案に助言)</p> <p>プロジェクトマネージャメント (システムやアプリケーションの開発時に、プロジェクトの基本設計を立て開発全体を管理)</p>					
ミドルレベル (専門分野が確立しており、自らの業務上の課題の発見・解決をリード。スキル開発においても、自らのスキル向上と後進育成に貢献。)	チームリーダーレベル	<p>プロジェクト(電子政府推進のためのプロジェクトマネージャ(A),(B)) J0600019/J0600020</p> <p>プロジェクト管理、分析・評価スキル J0600012/J0600013</p> <p>省内各部署の役割に合わせ業務プロセスを改善、システム開発の業務分析、ビジネスアスキーチャーター策定スキル J0600010/J0600011</p>					
	サブ・チームリーダーレベル	<p>コンピュータ(電子政府推進のためのデータベーススペシャリスト(A),(B)) J0600016</p> <p>データベース設計、性能評価、パフォーマンスチューニングなどのデータベース運用管理スキルの定着</p> <p>省内内の各部署に留まるプロジェクトを遂行・完了できる人物育成を目的</p>	<p>コンピュータ(電子政府推進のためのネットワーク(A),(B)) J0600017/J0600018</p> <p>中規模なTOP/IPベースのWAN/LAN設計及び構築、ネットワーク管理、トラブルシューティングスキル J0600021</p> <p>省内内の小規模ネットワーク設計・構築のチームリーダーを補佐できる人物育成を目的</p>	<p>コンピュータ(電子政府推進のためのセキュリティ(A),(B)) J0600022</p> <p>情報セキュリティポリシーの策定・構築、監査スキルの定着</p> <p>省内内の情報セキュリティ基本方針策定は、各部署内の部署ができる人物育成を目的</p>	<p>コンピュータ(電子政府推進のためのWebアプリケーションスペシャリスト(A),(B)) J0600023/J0600024</p> <p>UNIXベースでベンダー提供のソフトウェアを利用したWebアプリケーションの構築スキル J0600022</p> <p>省内内のWebアプリケーションシステム開発のチームリーダーを補佐できる人物育成を目的</p>	<p>コンピュータ(電子政府推進のためのクラウドサービス(A),(B)) J0600014</p> <p>WINDOWSベースでベンダー提供のソフトウェアを利用したクラウドサービス・サーバー構築スキル J0600014</p> <p>省内内のクラウドサービスのチームリーダーを補佐できる人物育成を目的</p>	
エントリレベル (指導のもと業務上の課題発見・解決を実施。積極的なスキル研鑽が必要。)	スタッフレベル						
	スタッフレベル						

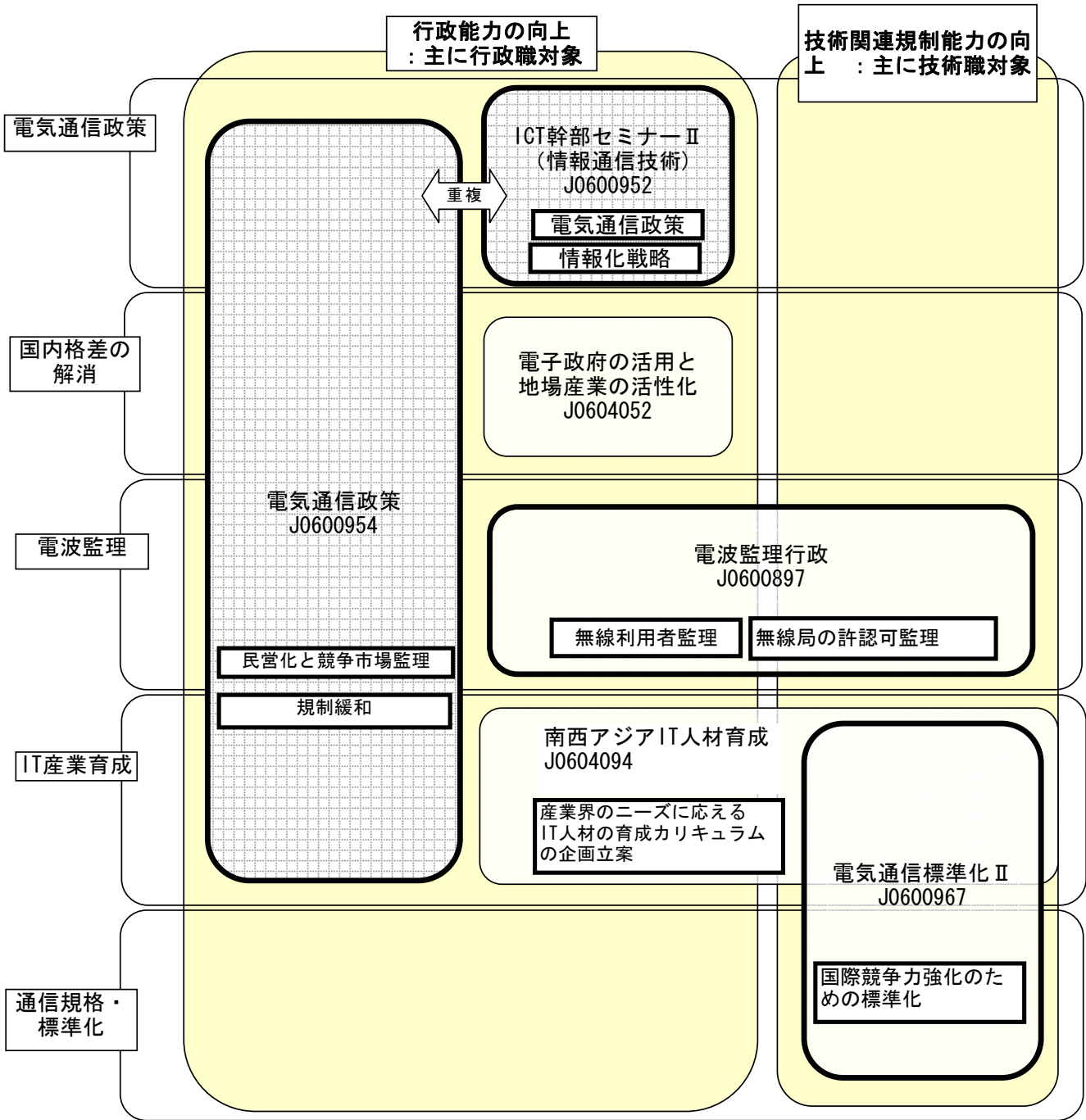
※1「電子政府推進」とは、省内内、部署内及び行政サービスの業務を電子化・システム化することによって、電子政府構築のための基盤づくりを指すものである。
 ※2開発課題「IT人材の育成」、中間目標「政策担当者の育成」、中間目標のサブ目標「行政(業務レベル)人材の育成」では、IT政策を策定する人材の育成に重点が置かれているのに対し、ここでは策定された政策に基づいてどのような行政サービス業務を電子化・システム化するか、という技術者の育成に重点が置かれている。

情報通信技術

開発課題：IT人材の育成

中間目標：政策担当者の育成

中間目標のサブ目標：行政（実務レベル）人材の育成



* ICT幹部セミナーは情報通信と放送を隔年で実施（2006年は情報通信、2007年は放送）

集团コース

地域別コース

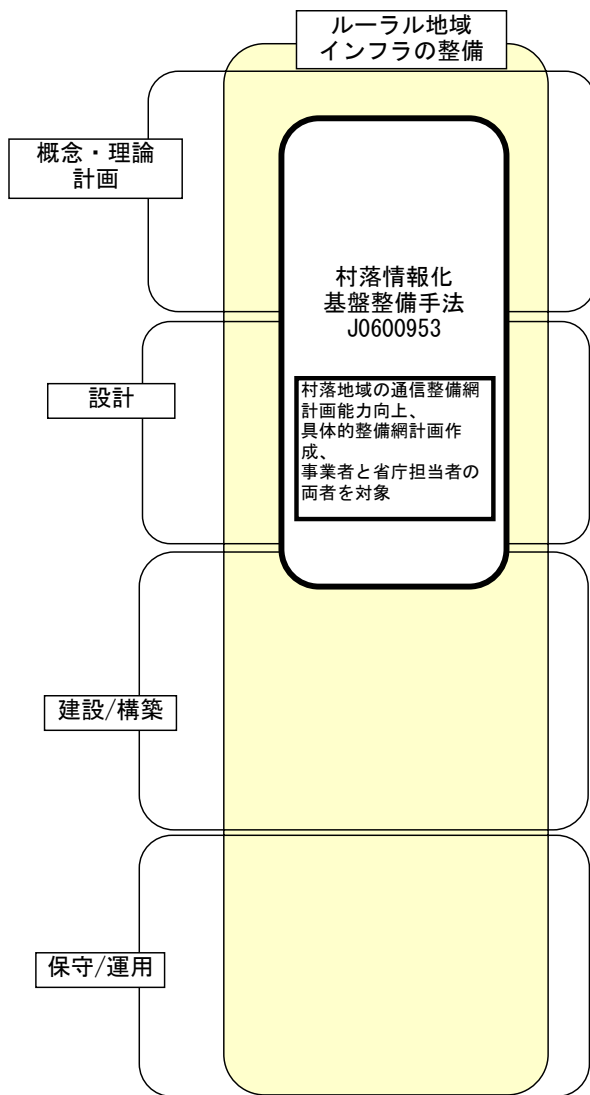
集团コース
(準高級対象)

情報通信技術

開発課題：通信基盤の整備

中間目標：通信基盤の整備

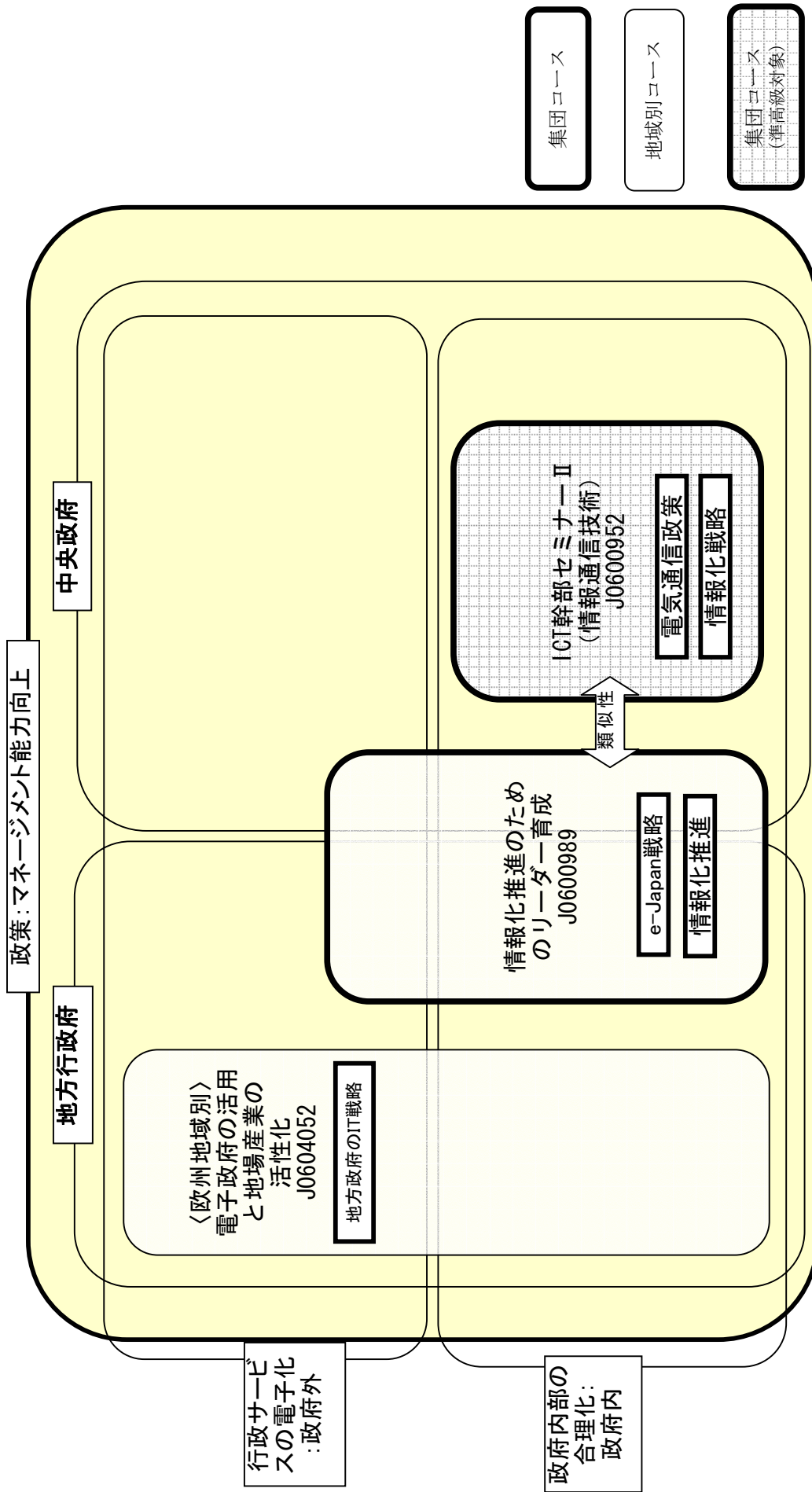
中間目標のサブ目標：ルーラル地域インフラの整備



情報通信技術

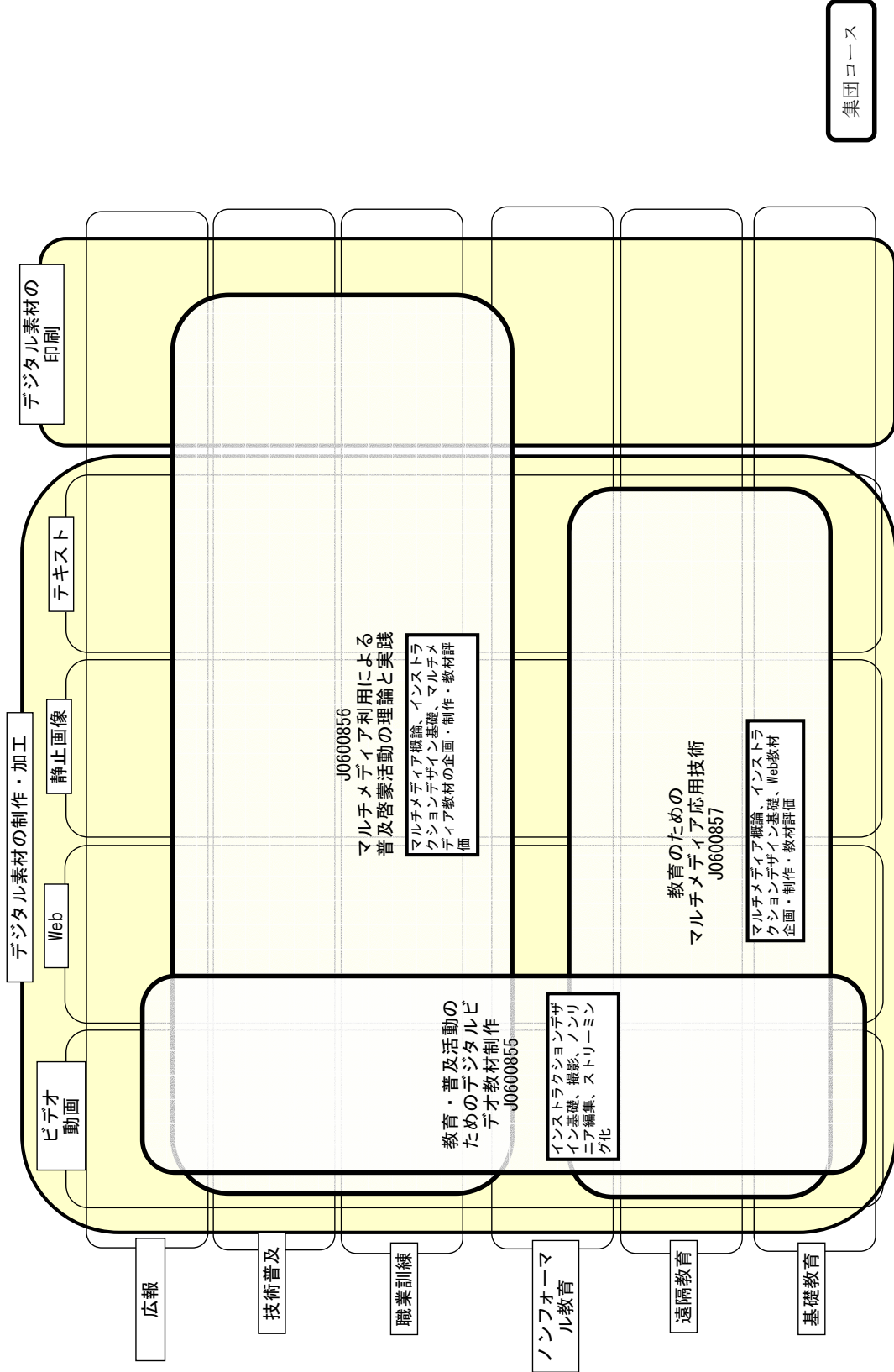
開発課題：各分野へのIT活用による効率・効果の向上

中間目標：電子政府の推進

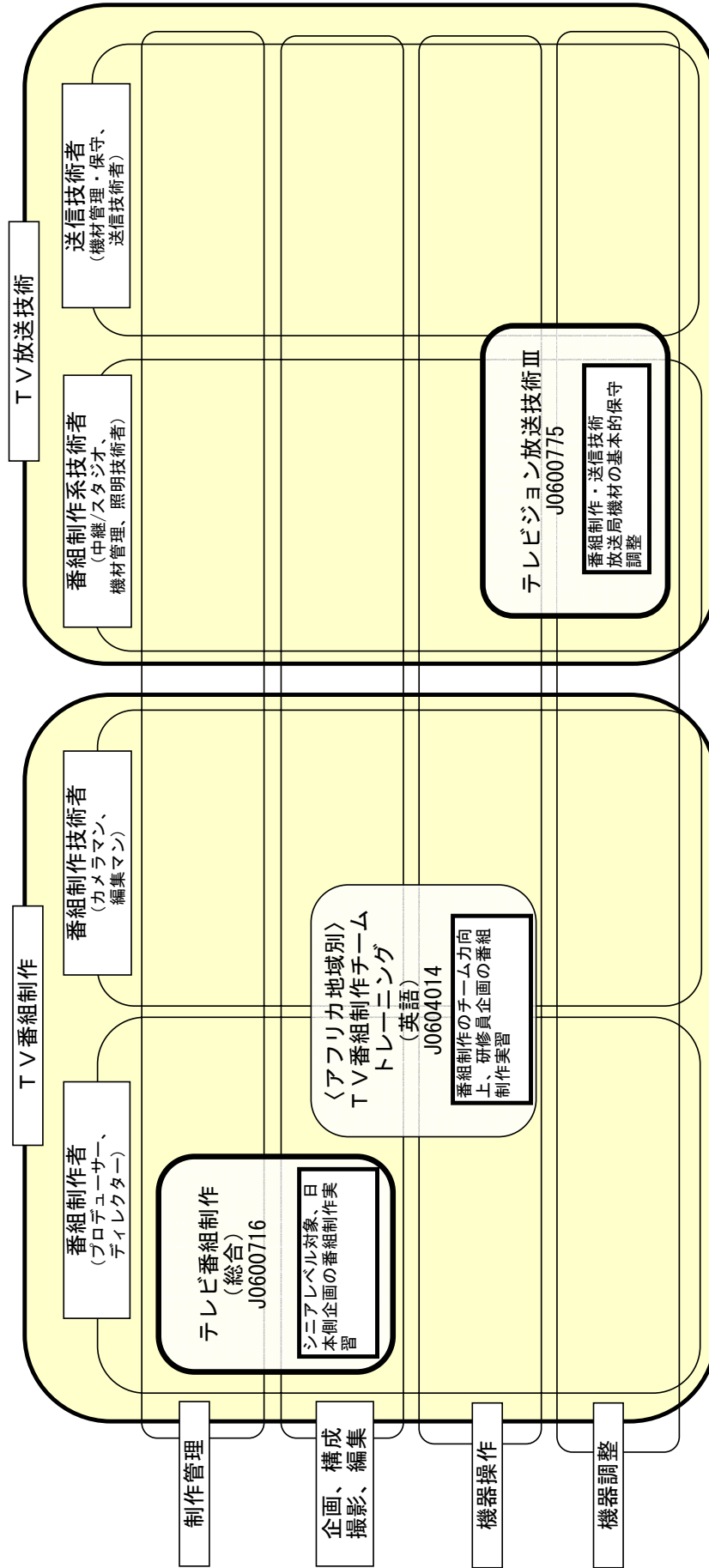


情報通信技術

開発課題：各分野へのIT活用による効率・効果の向上
 中間目標：各分野へのIT活用の促進（保健、医療、教育分野等）



情報通信技術
放送分野



地域別コース

集団コース

エネルギー供給

対象者 目標	行政官・幹部層 (政策立案等)	技術者・実務者
総合エネルギー 計画 *		
電力開発計画 *		
電力設備の 維持・管理		<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ガスタービン・蒸気タービン (石炭) J0600578 火力発電 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 原子力発電基礎 J0600730 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 石油、化学及び火力発電プラントの設備 管理と技術基準 J0600983 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 配電網整備 J0600797 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 安定供給型水力発電 J0600939 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 電力輸送効率化 J0600827 </div> </div>
技術者の人材育成		
制度・設計支援		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 石油、化学及び火力発電プラントの設備 管理と技術基準 J0600983 </div>
その他	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 指標管理型電気事業経営 J0600728 </div>	

集团コース

* 「総合エネルギー計画」と「電力開発計画」分野については、平成 18 年度は国別研修を中心に対応を図る方針

省エネルギー

対象者 目標	行政官	技術者	民間
省エネルギーの 制度構築	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 省エネルギー J0600315 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 中・東欧地域エネルギー管理 J0604065 </div>	
政府による 省エネルギー サービスの実施			
省エネルギー 市場活性化			

集团コース

地域別コース

金融

対象者 目標	政府・中央銀行	証券取引所・証券監督機関	政府系金融機関
適切な金融政策の実施	南・東欧地域金融セクター開発セミナー J0604033		
中央銀行の機能強化	金融制度強化セミナー J0600853		
直接金融市場の育成		証券取引所セミナー (アジア地域) J0604109	
公的・民間金融機関の 整備・改善・強化			
金融インフラの整備			
金融部門の再構築			

集団コース

地域別コース

貿易投資促進

対象者 目標	国際的な枠組み（WTO 協定、FTA、ICSID、BIT s）加盟に係わる行政官	対内投資促進に係わる行政官	地場産業の輸出促進に係わる行政官
国際的な枠組みの中での貿易・投資促進への対応力強化	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> WTO 協定・紛争解決 了解の運用 J0603496 </div>		
貿易促進のためのキャパシティ・ビルディング		<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;"> 中・東欧地域海外貿易振興政策 J0604066 </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;"> 貿易・投資促進実務（アジア） J0600732 </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;"> 貿易・投資促進実務（アフリカ・中近東） J0600733 </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;"> 貿易・投資促進実務（中南米） J0600731 </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;"> 貿易保険制度運用 J0600734 </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 貿易促進 II J0600849 </div>	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;"> アジアにおける輸出管理運用技術向上 J0600881 </div>
外国直接投資促進のためのキャパシティ・ビルディング		<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 投資環境法整備 II J0600803 </div>	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 南東欧地域投資促進セミナー（JICA/UNIDO 合同プログラム） J0604035 </div>

集団コース

地域別コース

中小企業育成・裾野産業育成

対象者 目標	政策立案・行政官	民間セクター	専門家
中小企業の成長発展に資する事業環境の整備	<div data-bbox="421 383 874 461">企業ネットワークによる中小企業振興Ⅱ J0600895</div> <div data-bbox="421 479 874 557">中小企業政策セミナーⅡ J0600995</div> <div data-bbox="421 575 874 654">南部アフリカ地域「中小企業育成」 J0604079</div> <div data-bbox="421 672 874 750">中東欧中小企業振興セミナー J0604072</div> <div data-bbox="421 768 874 846">中東地域を対象とした中小企業振興 J0604128</div>		
産業競争力強化に資する中小企業育成	<div data-bbox="421 981 780 1059">南東欧サポーティングインダストリー育成 J0604039</div> <div data-bbox="421 1126 1094 1173">アジア地域商工会議所マネジメント J0604032</div> <div data-bbox="421 1205 1190 1252">東欧生産性管理 J0604041</div> <div data-bbox="421 1283 1190 1330">経営管理 J0604142</div>	<div data-bbox="807 981 1147 1081">生産性向上のための実践経営管理 J0600842</div>	<div data-bbox="1174 969 1445 1115">中小企業振興のための技術支援Ⅰ（バイオ・高分子産業分野） J0600904</div> <div data-bbox="1206 1171 1445 1373">中小企業振興のための技術支援Ⅱ（有機化学工業／無機化学工業・金属産業分野） J0600905</div>
地域社会の活性化・雇用の創出に資する中小企業の育成	<div data-bbox="421 1485 927 1585">地域振興行政セミナー（一村一品運動） J0604029</div>		

集団コース

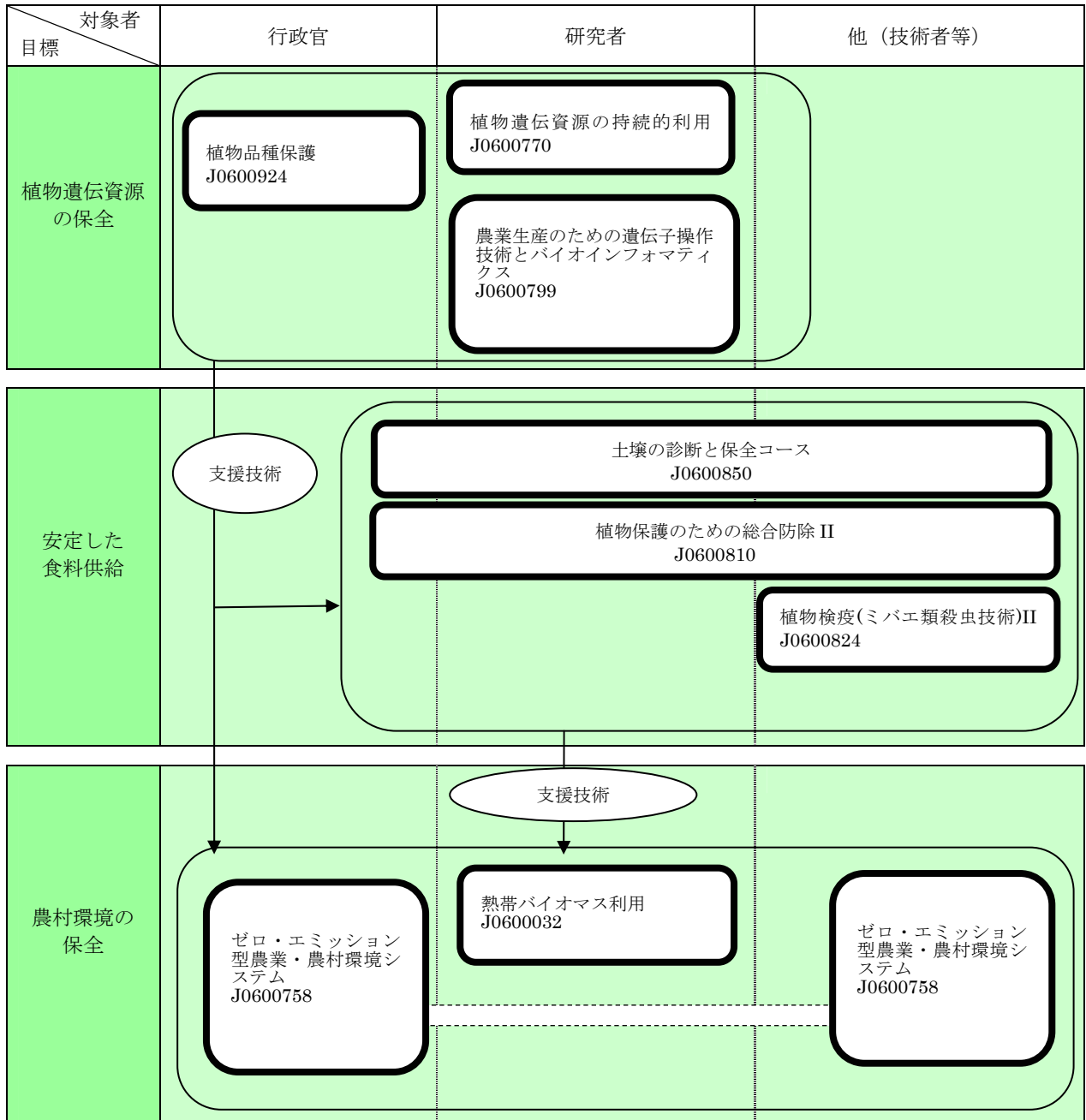
地域別コース

農業農村開発：政策支援

対象者 目標	行政官	研究者	技術者・普及員
農業統計関連 政策立案能力 の向上	<div data-bbox="379 427 655 568" style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> 農業統計指導者 J0600750 </div>		
食料生産・流 通統計の整備			<div data-bbox="1093 696 1422 815" style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> 農業の IT システム化技術 J0603520 </div> <div data-bbox="368 837 1410 965" style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> GIS（地理情報システム）による天然資源・農産物の管理 J0600987 </div>

集団コース

農業農村開発：環境・資源



集団コース

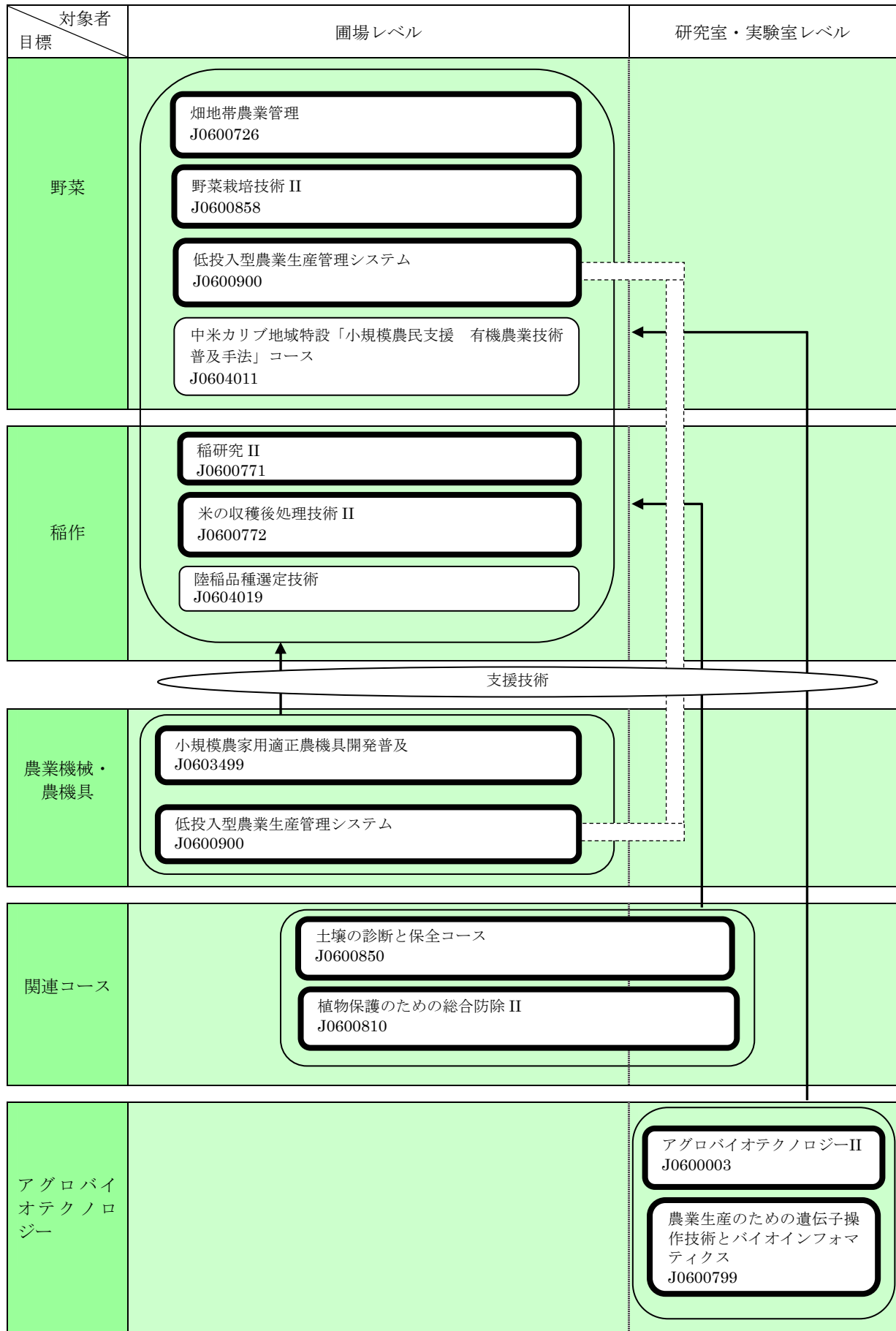
農業農村開発：生産基盤

対象者 目標	技術行政官向け	農民リーダー向け
農業農村における基盤整備に向けた総合的な課題解決能力の向上		
開発計画の実践 現場での課題解決能力の向上	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> かんがい排水・農村開発 J0600923 </div>	
制度・政策中心 プロジェクト実施における行政支援・技術支援能力の向上	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 農業農村における持続的な水資源開発 J0600755 </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> かんがい排水プロジェクトの持続的 management J0603500 </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 畑地帯における農業基盤整備 J0600903 </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> 乾燥地水資源の開発と環境評価Ⅱ J0600890 </div>	
水管理組織の構築 水利組合の育成・強化	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> 農民参加型用水管理システム J0604116 </div>	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> 水利組合育成 J0604049 </div>

集团コース

地域別コース

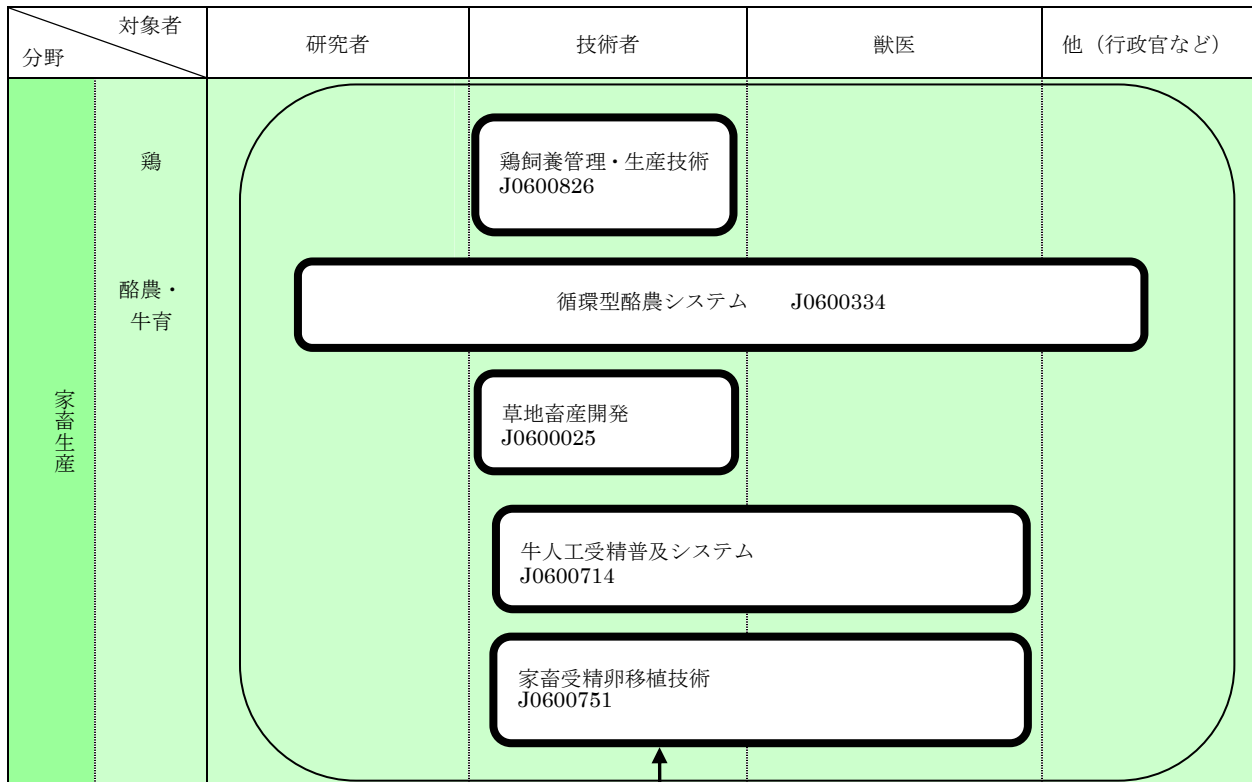
農業農村開発：生産技術



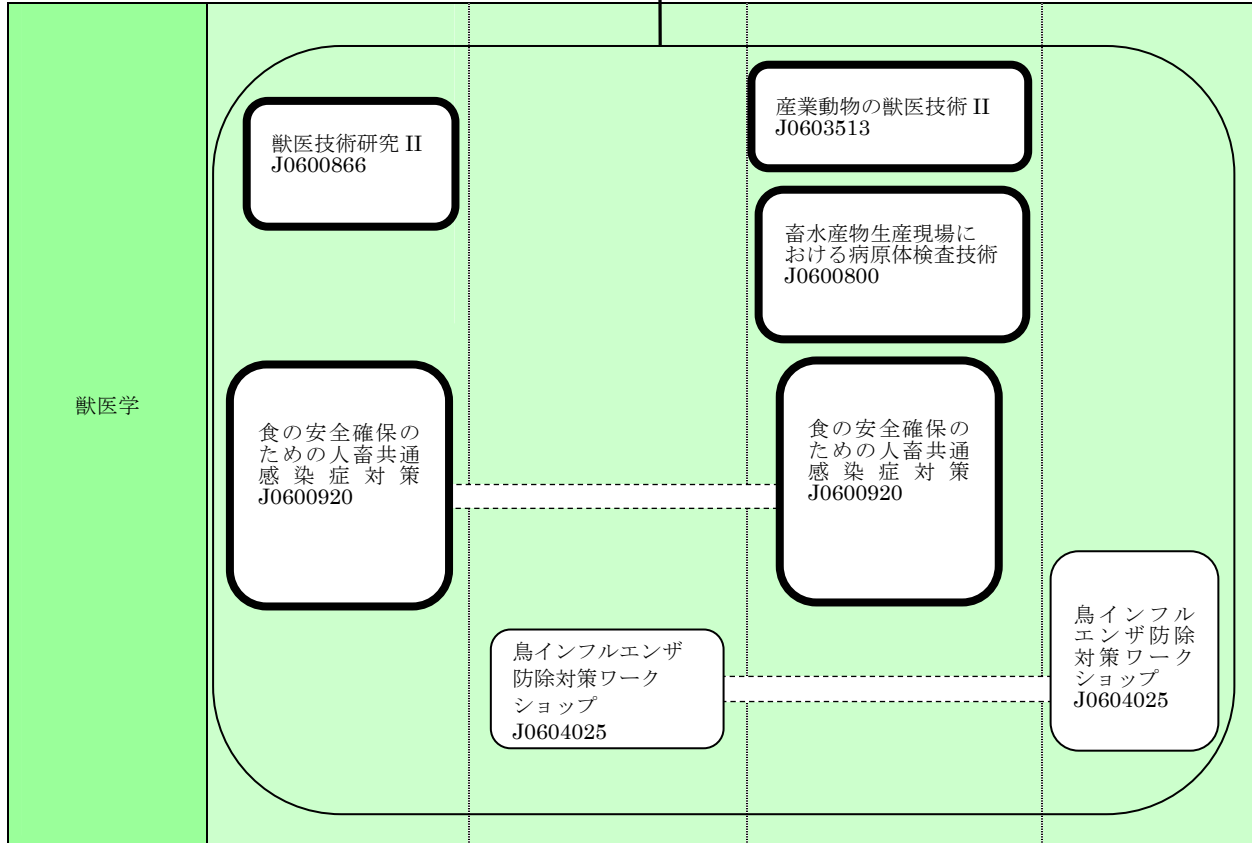
集団コース

地域別コース

農業農村開発：畜産



支援技術



集団コース

地域別コース

農業農村開発：農民組織・普及・農村開発

目標／分野	行政アプローチ	ボトムアップ・アプローチ	参加型アプローチ
農村開発	農民参加による農業農村開発 III J0603511	農村振興セミナー J0600840	JICA-NGO 連携による実践的参加型村落開発 J0600805
	地域振興行政セミナー（一村一品運動） J0604029	農村女性能力向上 II J0600889 J0600928	住民参加型農村開発のプロジェクト運営管理 J0604125
	持続的農村開発 J0600036	オイスカ農業者育成研修 J0600724	
		女性と農村開発（仏語圏 アフリカ地域特設） J0604062	

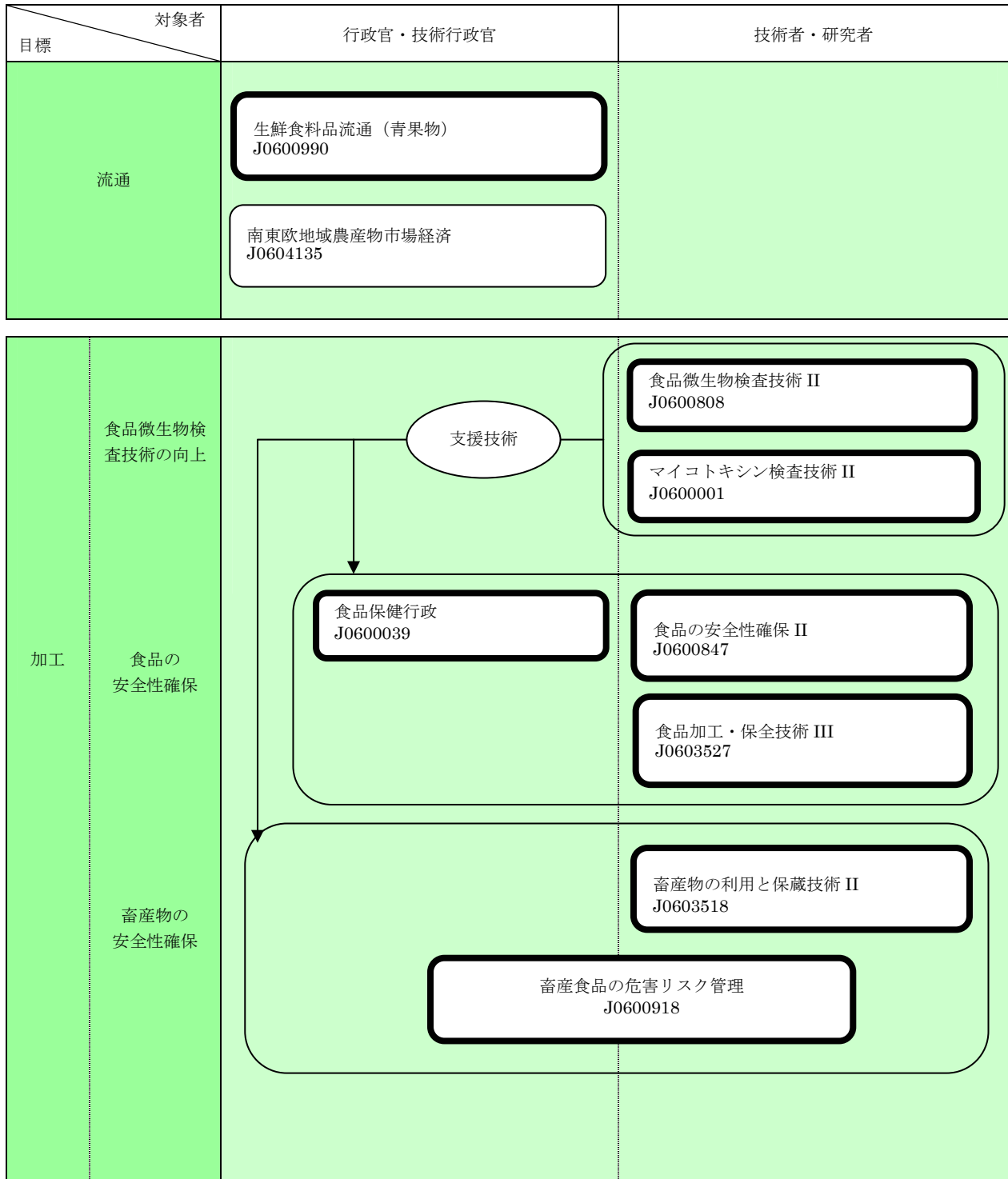
目標／分野	農民組織	水利組合育成
農民組織	農村経済活性化に果たす農協の役割 II J0600969	水利組合育成 J0604049
	農業協同組合を通じた農村振興（アジア地域） J0604002	
	農民組織化と農協の役割 J0604046	
	農業金融 J0604028	

目標／分野	農業普及方法の改善	普及員の人的能力構築
普及	農業普及企画管理者 II J0600926 J0600927	畑地帯農業管理 J0600726

集団コース

地域別コース

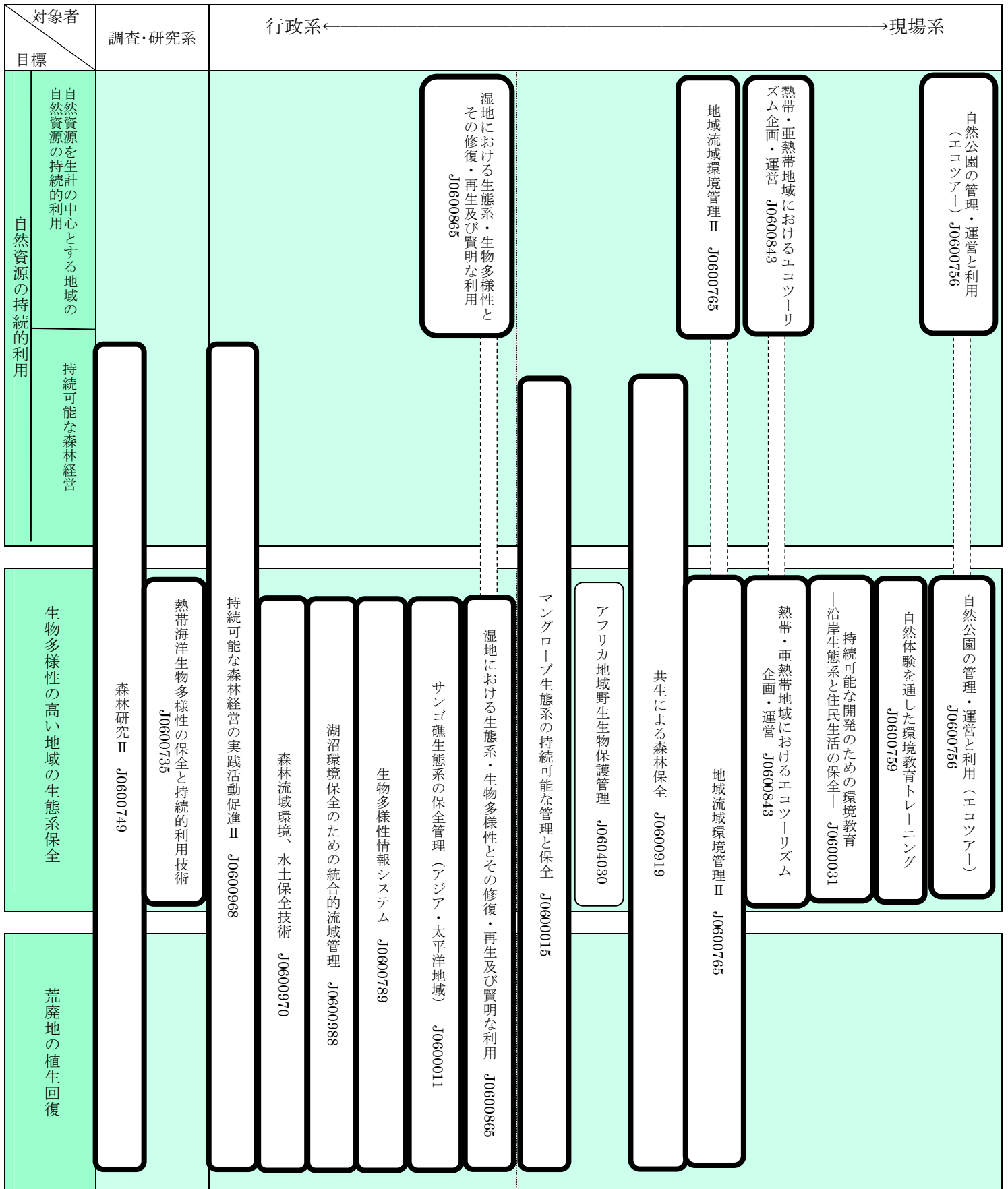
農業農村開発：流通加工



集团コース

地域別コース

自然環境保全



集団コース

地域別コース

水産

目標	対象者	行政官	技術者
水産資源 有効利用	漁業生産量の増大		持続可能な沿岸漁業 II J0600975
	水産養殖の振興		持続的増養殖開発 II J0600848
	水産加工・流通の改善 と漁業基盤整備		養殖魚の健康と安全管理 J0600351
			冷凍機保守 J0600720
水産資源の 保全管理	水産資源評価	沿岸漁業の統合的な管理手法 J0600752	
	漁業管理	沿岸漁業資源管理 J0600863	
	漁場環境保全		
	種苗生産・放流	資源培養のための栽培漁業 J0600336	
漁民・漁村の貧困削減		漁業コミュニティ開発計画 J0600852	
キャパシティ・ デベロップメント			

集団コース

ジェンダーと開発

対象者	政策立案・行政官	実践（普及員、NGO など）
目標		
政策レベルにおけるジェンダー主流化促進	<p>ジェンダー主流化政策のための行政官セミナー J0600723</p> <p>男女共同参画推進セミナーII J0600748</p>	

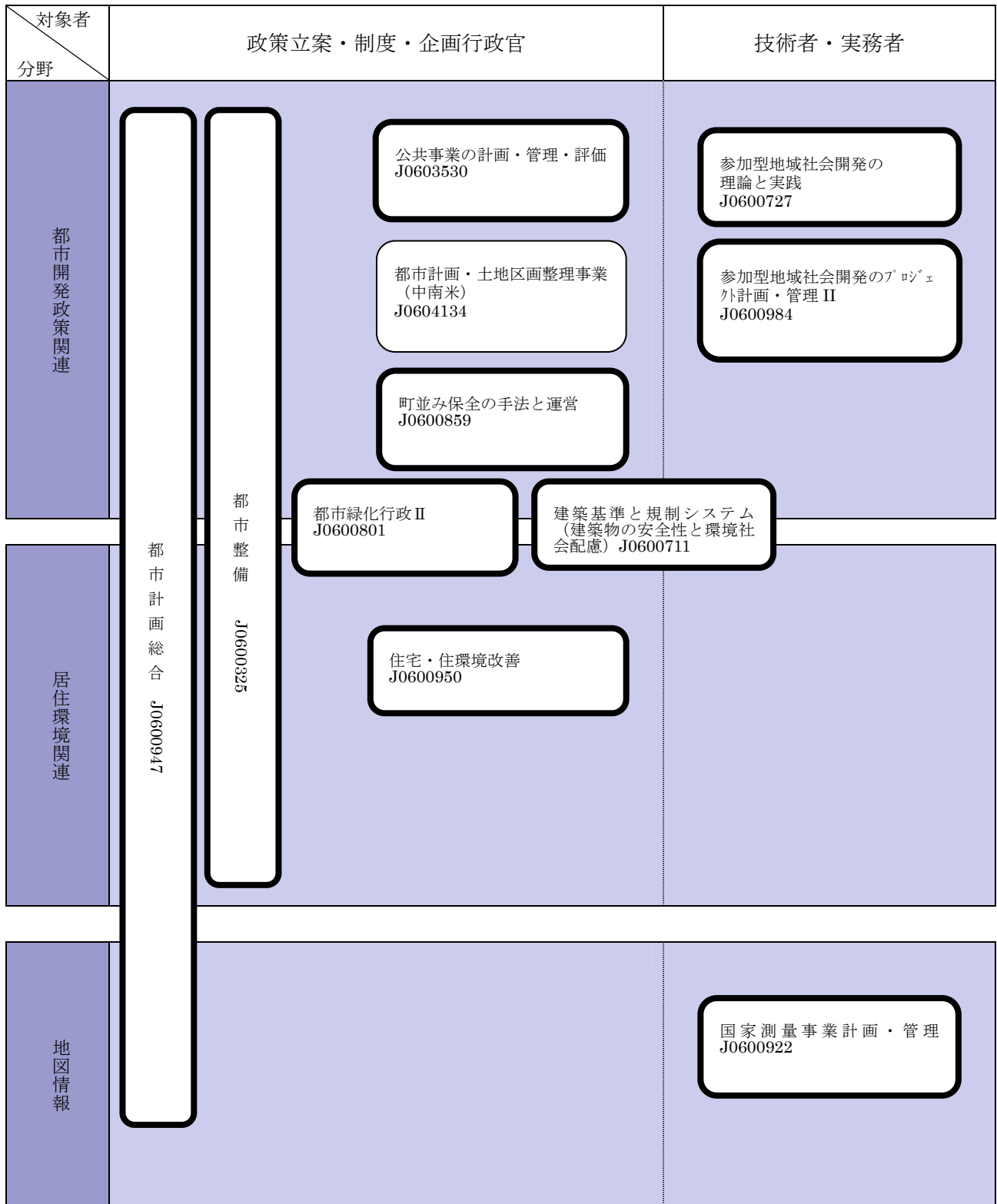
ジェンダー主流化の視点に立った課題別の取り組み

経済 農村開発 貧困削減 教育 健康	経 済	女性起業家育成のための指導者セミナー II J0600930
	農 村 開 発	農村女性能力向上 II J0600889, J0600928
		漁村開発におけるジェンダー主流化 J0600976
		女性と農村開発（仏語圏アフリカ） J0604062
	貧 困 削 減	オイスカ農村女性の生活改善と村づくり研修 J0600862
教 育	女性の生活と地位向上に寄与するリーダーの養成 J0600033	
健 康	女性の教育推進セミナー II J0603509	
		健康と栄養改善のための女性指導者研修 J0603519
地球規模への取り組み	環 境 人 権	「環境と開発と男女共同参画」セミナー J0600009
平和構築	平和構築	

集団コース

地域別コース

都市開発



集団コース

地域別コース

環境管理：大気

対象者 目標/分野	行政官・技術行政官	技術者・研究者
大気汚染 対策全般	<div data-bbox="384 405 807 506">大気汚染対策 II J0600854</div> <div data-bbox="384 521 807 622">大気保全政策 II J0600864</div>	<div data-bbox="938 551 1361 745">大気環境保全管理（日韓共同研修） J0604138</div>
固定 発生源		
移動 発生源	<div data-bbox="395 853 834 981">都市環境と交通 J0600844</div>	<div data-bbox="927 846 1393 992">自動車が係わる環境問題改善：技術と施策 J0600921</div>
大気モニタ リング	<div data-bbox="400 1055 762 1182">大気汚染源モニタリング管理 J0604112</div>	<div data-bbox="1106 1043 1385 1200">衛生環境分析技術者 II J0600823</div>
広域的な大気 汚染対策(酸 性雨・オゾン 層・温暖化ガ ス等)	<div data-bbox="395 1290 863 1413">東アジア酸性雨モニタリングネットワーク 技術 J0604078</div> <div data-bbox="395 1473 874 1574">オゾン層保護対策セミナー II J0600937</div> <div data-bbox="395 1641 879 1753">地球温暖化対策コース J0600572</div>	<div data-bbox="962 1406 1302 1615">京都メカニズムプロジェク ト担当者養成 J0600793</div>

集団コース

地域別コース

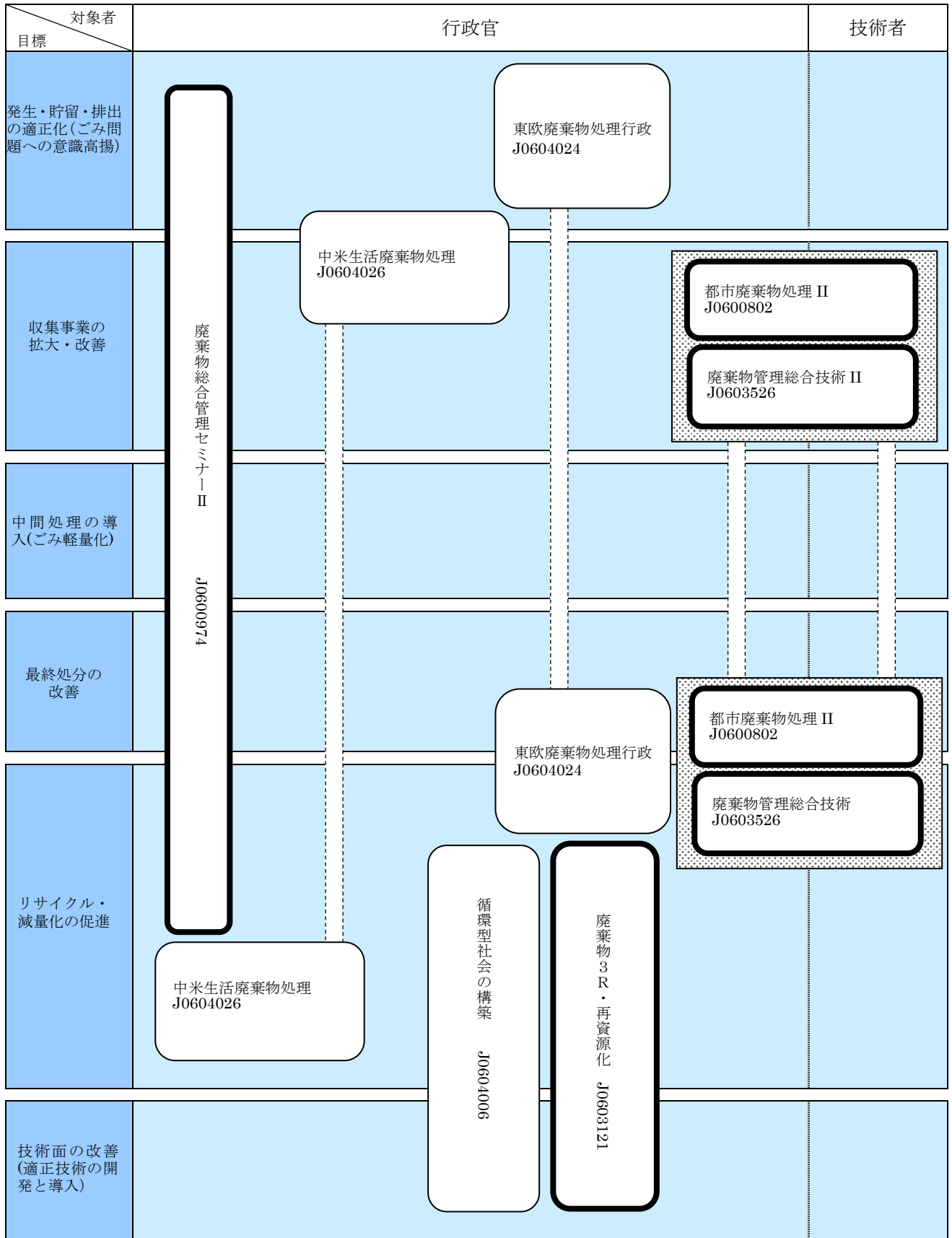
環境管理：水質汚濁

目標 / 対象者	上級行政官・政策立案者	技術者・研究者
下水・生活排水管理 /対策	下水道維持管理 II J0600762 生活排水対策 II J0600006 中南米生活排水処理計画 J0604018	下水道技術・都市排水コース J0600779
産業排水処理対策	環境中の有害汚染物質対策 J0603524 産業廃水処理技術 II J0600815 工業用水使用合理化及び廃水再生利用 (18年度休止) J0603074	
水環境 モニタリング	閉鎖性海域の水環境管理技術 II J0600997	中央アジア水質モニタリング J0604042 水環境モニタリング II J0600962
その他	淡水環境修復(日韓共同研修) J0604137 湖沼環境保全のための統合的流域管理 J0600988 住民との協働による環境都市づくり (公害の経験から) J0600007	海洋環境保全 II J0600822

集団コース

地域別コース

環境管理：廃棄物処理



集团コース

地域別コース

環境管理：分野横断・その他

目標	対象者	行政官	技術者	研究者
環境総合 (水・大気・廃棄物等)	社会科学 的ア プローチ	社会的環境管理能力の形成と政策評価 J0604036		
	自然科学 的ア プローチ	中・東欧地域産業環境対策 J0604067	地域環境保全対策と技術 J0600917	環境調和技術 J0600729
物質分析		都市生活型の環境問題 J0603515	環境負荷化学物質の分析技術 及びリスク評価 J0600811	
		化学産業における環境管理技術 II J0600982		
		化学物質管理政策研修 J0600026	環境放射能分析・測定技術 J0600938	
クリーン プロダクション			コンピューターによる機械制御—クリーン プロダクションのための高度設備システム の構築—II J0600886	
			クリーンプロダクションのための保全管 理 II J0600885	
			プロセス工業におけるクリーンプロ ダクション J0604119	
環境社会 評価	環境影 響評価 EIA	ODAにおける環境影響評価 に係る集団実務研修 J0600936	大洋州地域環境社会配慮 J0604114	
	事業 評価	環境改善・公害対策融資 セミナー (円借款事業連携) J0600838		
	ISO 14001	環境政策・環境マネジメントシステム II J0600992		

集团コース

地域別コース

3. プログラム概要表

プログラム概要表の各項目について

中等科学教育実技Ⅱ ※1 Practice of Science Education for Secondary School II		※11※12 複数年 ※2 J0600004 主分野課題：教育－前期中等教育 ※3 副分野課題：教育－後期中等教育	
対象国の条件：英語圏アフリカ諸国 ※13		※5 定員：6名／使用言語： ※4 英語	
目標／成果 ※15	対象組織／人材 ※14		
参加者が、観察・実験など実践的な科学教育の指導力が高まるよう、以下を達成する。 (1)物理・化学・生物・地学の各観察・実験技術を習得する。 (2)廃棄物や自然の素材など、身の周りの素材を利用した低コスト科学観察・実験教材の開発方法を習得する。 (3)日本の教育制度の概要を理解する。また、実践的視点から日本の科学教育の学習指導・評価・教師教育を理解する。 (4)上記で得た知識・技能等を総合し、観察・実験を導入した具体的・効果的な科学教育プログラムを作成する。	(1)中等学校で科学教育の指導に従事している者 あるいは科学教育分野の現職教員研修に従事している者 (2)大卒あるいは同等の学歴を有する者 (3)科学教育分野で3年以上の指導経験を有する者 (4)原則35歳以下の者 *行政官、大学研究者、及び数学教員は本研修に適していない		
内容 ※16	本邦研修期間	2006.8.8～2006.10.1	※6
開発途上国の科学教育の振興を妨げている要因は数多いが、その大きな要因の一つに観察・実験など実践的な指導力を十分有していない教員が教壇に立ち、教科書読み上げ方式による授業を行っていることが挙げられる。この現状、及びアフリカ地域の学校の状況から、自然の素材や身近な日用品等、財政基盤が脆弱な地方の学校でも入手可能な低コストの材料を用いた観察・実験教材の開発技術、及びそれを用いた効果的な科学教育手法を有する教員の養成に、高い研修ニーズが存在している。 本研修は主に以下のとおり構成されている。以下(2)では科学教育の複合的性質を勘案し、物理・化学・生物・地学の4教科すべてを体験する。(3)では各参加者の希望に応じて、物理・化学・生物・地学・理科教育学の5分野から異なる2分野を選び、それぞれの担当講師の研究室で個別に研修を行う。 (1)日本の理科教育制度・学習指導 (2)科学観察・実験 (3)専門分野研修 (4)学校訪問(授業参観) (5)研修旅行 (6)討論	主要協力機関	広島大学大学院教育学研究	※8
	所管国内機関	JICA中国・業務第一チーム	※9
	関係省庁	文部科学省	※10
	実施年度	2005年度から2009年度まで	※7
	特記事項 ※17	本研修は15年以上の受入実績を有している。	

※1 研修名 (和・英)

※2 研修番号 …研修を識別するための番号。

※3 分野課題 …中分類－小分類の順に表示。

※ 複数の分野課題にまたがる研修については、より幅広い関連機関からの参加を推奨するため、最大2分類まで表示。

※4 言語 …集団研修は全世界を対象に実施するため、原則英語。

※5 定員 …当該研修において受入可能な参加者数。

※6 本邦研修期間 …参加者の来日予定日から離日予定日まで (一部変更の可能性有り)。

※7 実施年度 …研修が実施される年度。集団研修では原則5年間毎に案件の採択検討を行っている。

※8 主要協力機関 …研修を実施する主な機関・団体。

※9 所管国内機関 …研修を所管する JICA 国内機関。

※10 関係省庁 …研修を所管する省庁 (特にない場合は「独立行政法人国際協力機構」と表示)。

※11 複数年数受入 …集団研修は原則として1カ国1名の受入を行います。この表記がある研修では1カ国2名の受入が可能 (ただし状況により、受入可能な国数が限られる場合有り)。

※12 複数年数受入 …集団研修は原則として年度ごとに参加国の選択・採択を行います。この表記がある研修では、同一国が複数年数継続して参加することが可能 (ただし状況により、受入可能な国数が限られる場合有り)。

※13 対象国の条件 …研修参加国として一定の自然条件・社会条件、条約・国際組織等への加盟、または特定の地域に属していることが求められる研修の場合は、その条件を本欄に示す。

※14 対象組織・人材…研修の対象となる組織、参加者個人に求められる資格・要件等を本欄に示す。

※15 目標 …参加者や参加組織・機関による達成が期待される研修目標。

※16 内容 …議題または形式（講義、実習等）別の研修内容。

なお、プログラムの一環として本邦研修期間の前後にも活動を課す研修では、その内容につき以下のとおり表示する。

<事前活動>

来日前の段階で参加者及び組織に求められる事前セミナー参加、調査・報告書作成等の活動。


<事後活動>



研修成果を個人レベルから各国の組織・社会に還元するため、帰国後に参加者及び組織に求められる、アクションプランの実施、結果報告書提出等の活動。

※17 特記事項 …研修設立の経緯、主要協力機関の関連情報、参加を通じて取得できる資格・学位等、研修に関する補足情報を本欄に示す。

学校保健 School Health		J0600038	
		分野課題：教育－初等教育 定員：10名／使用言語：英語	
目標／成果	対象組織／人材		
<p>途上国では、学校保健(保健室の併設、衛生教育・HIV/AIDS教育等の実施、子どもの健康管理、安全な水の確保、学校給食等)の取り組みは十分でなく、子どもの健康が脅かされている。</p> <p>日本では、学校保健法等の制度整備、養護教諭等の人材育成、保健室等設備の整備により、子どもの保健管理と保健教育が行われている。</p> <p>本プログラムでは、日本の学校保健の制度や学校における取り組みを理解し、自国の学校保健システム改善に資する政策・制度・実践改善に係る示唆を得ることを目的とする。</p> <p>上記目標のため、以下を達成する。</p> <p>(1) 学校保健の現状認識 ：自国の学校保健に係る問題点・課題を明確化する。</p> <p>(2) 現場体験に基づいた学校保健の考察 ：日本の実例を参考にしながら、学校保健システムの改善方法について、自国の状況に即して考察する。</p> <p>(3) 学校保健システム構築への展望 ：自国における学校保健システムの改善に資する政策・制度・実践計画の策定に係る方向性を設定する。</p>	<p>(1) 学校保健及び教育担当中央省庁・地方行政組織の学校保健担当部局の長、担当行政官 (2) 学校保健、母子保健等に関する基礎知識を有すること (3) 当該分野における経験年数5年以上</p>		
内容	本邦研修期間	2006.5.22～2006.7.8	
<p>(1) 事前プログラム ジョブレポートの作成</p> <p>(2) 本邦研修 1) 自国の学校保健の現状把握 レポートの作成と討論 2) システム管理・運営 システム管理・人材育成(養護教諭養成課程、現任者研修他)、 3) 学校保健概論 歴史的考察・制度の概要並びに日本の学校保健の今日的課題、 4) 健康教育／保健指導 性・食育・喫煙・薬物防止・児童・生徒への個別の保健指導他、 5) 健康教育／保健学習 保健室業務・教科学習としての保健体育活動・養護教諭による保健教育活動・授業視察と現場交流他 6) 環境管理 学校薬剤師の業務と実践活動、 7) 健康管理 学校健診システム、 8) 地域保健活動への展開 保健組織活動並びに学校保健とリンクした感染症対策の実践、 9) 学校給食 学校給食システムの理解と現場での運用状況の視察、 10) アクションプラン作成・発表</p> <p>(3) 事後プログラム 進捗レポート作成</p>	主要協力機関	あいち小児保健医療総合センター	
	所管国内機関	JICA中部・業務チーム	
	関係省庁	独立行政法人国際協力機構	
	実施年度	2006年度から2010年度まで	
	特記事項		

本研修は、一般の研修のように参加者個人を対象としたものではなく、組織を対象とします。多数の人材への知識の普及や改善計画の策定などの個人の次元を超えた課題に直面する組織のために特別プログラムとして用意されたものです。このため、研修に参加する途上国側にも、事前の報告書の作成や本邦プログラム後の成果品の策定などについて、組織的に取組んでいただくことを想定しています。


中等科学教育実技Ⅱ Practice of Science Education for Secondary School II			複数年	J0600004
対象国の条件：英語圏アフリカ諸国		主分野課題：教育－前期中等教育 副分野課題：教育－後期中等教育 定員：6名／使用言語：英語		
目標／成果	対象組織／人材			
<p>参加者が、観察・実験など実践的な科学教育の指導力が高まるよう、以下を達成する。</p> <p>(1)物理・化学・生物・地学の各観察・実験技術を習得する。 (2)廃棄物や自然の素材など、身の周りの素材を利用した低コスト科学観察・実験教材の開発方法を習得する。 (3)日本の教育制度の概要を理解する。また、実践的視点から日本の科学教育の学習指導・評価・教師教育を理解する。 (4)上記で得た知識・技能等を総合し、観察・実験を導入した具体的・効果的な科学教育プログラムを作成する。</p>	<p>(1)中等学校で科学教育の指導に従事している者あるいは科学教育分野の現職教員研修に従事している者 (2)大卒あるいは同等の学歴を有する者 (3)科学教育分野で3年以上の指導経験を有する者 (4)原則35歳以下の者 *行政官、大学研究者、及び数学教員は本研修に適していない</p>			
内容	本邦研修期間	2006.8.8～2006.10.1		
<p>開発途上国の科学教育の振興を妨げている要因は数多いが、その大きな要因の一つに観察・実験など実践的な指導力を十分有していない教員が教壇に立ち、教科書読み上げ方式による授業を行っていることが挙げられる。この現状、及びアフリカ地域の学校の状況から、自然の素材や身近な日用品等、財政基盤が脆弱な地方の学校でも入手可能な低コストの材料を用いた観察・実験教材の開発技術、及びそれを用いた効果的な科学教育手法を有する教員の養成に、高い研修ニーズが存在している。</p> <p>本研修は主に以下のとおり構成されている。以下(2)では科学教育の複合的性質を勘案し、物理・化学・生物・地学の4教科すべてを体験する。(3)では各参加者の希望に応じて、物理・化学・生物・地学・理科教育学の5分野から異なる2分野を選び、それぞれの担当講師の研究室で個別に研修を行う。 (1)日本の理科教育制度・学習指導 (2)科学観察・実験 (3)専門分野研修 (4)学校訪問(授業参観) (5)研修旅行 (6)討論</p>	主要協力機関	広島大学大学院教育学研究科		
	所管国内機関	JICA中国・業務第一チーム		
	関係省庁	文部科学省		
	実施年度	2005年度から2009年度まで		
	特記事項	本研修は15年以上の受入実績を有している。		


中等教育開発II Secondary Education Development II		 複数人  複数年 J0600888 主分野課題：教育－前期中等教育 副分野課題：教育－後期中等教育 定員：9名／使用言語：英語
目標／成果	対象組織／人材	
中等教育改革の計画書を策定し、自国の関係者と共有する。 上記目標のため、参加者は以下を達成する。 1. 中等教育の基礎概念について理解する 2. 日本および開発途上国における中等教育発展の現状と課題について比較分析できる。 3. 自国のニーズに沿った中等教育開発の方向性について主体的に考察する	【対象組織】 中央または地方の教育省の中等教育担当部、中等教育カリキュラム開発機関 【対象人材】 (1) 教育省中等教育担当官、中等教育カリキュラム開発に携わる者 (2) 5年以上の経験 (3) 28歳から40歳 (4) 十分な英語能力	
内容	本邦研修期間	2006.10.9～2006.11.11
<事前活動> (1) レポート作成 <本邦研修> (1) -1. 中等教育の基本的概念 中等教育の歴史、教育行政、教育改革、カリキュラム、評価手法、教員養成、高大接続 (2) -1. 日本の学校および教育関係機関の現状 学校訪問(中学校、高等学校、定時制高等学校、高等専門学校) 地方自治体の教育委員会、教員研修センター、教科書研究センター (2) -2. 開発途上国の現状 EFA運動 (3) -1. 中等教育開発の方向性 講師陣とのQ&A、アクションプラン作成 <事後活動> (1) プロGRESS・レポートの作成、提出	主要協力機関	名古屋大学大学院教育発達科学研究科
	所管国内機関	JICA中部・業務チーム
	関係省庁	文部科学省
	実施年度	2004年度から2008年度まで
	特記事項	

本研修は、一般の研修のように参加者個人を対象としたものではなく、組織を対象とします。多数の人材への知識の普及や改善計画の策定などの個人の次元を超えた課題に直面する組織のために特別プログラムとして用意されたものです。このため、研修に参加する途上国側にも、事前の報告書の作成や本邦プログラム後の成果品の策定などについて、組織的に取組んでいただくことを想定しています。

職業訓練管理セミナー Seminar on Training Management in Vocational Training Institutions		↓	複数人	J0600345
分野課題：教育－職業訓練・産業技術教育 定員：10名／使用言語：英語				
目標／成果	対象組織／人材			
開発途上国の社会的・経済的発展に大きな役割を果たす人造りの一翼を担う職業訓練分野の振興に資するため、我が国における職業能力開発行政の実状並びに職業訓練管理に関する情報を広く途上国の職業訓練管理に従事する者に紹介するとともに、参加諸国の当該分野の現状及び問題点を比較討議し、参加研修員の職業訓練管理に関する能力向上を図る。 セミナー終了時まで、参加者が以下の項目を理解する。 1. わが国の人材育成の経済的・社会的・歴史的背景及び現状 2. 職業訓練機関の施設管理、機材・備品の維持、人員管理手法 3. 研修コース運営手法(研修ニーズ調査及び分析、研修コース開発、コースの評価) 4. 本セミナーの成果を自国の職業訓練施設及びコースの改善のために活かす方法	(1) 現在職業訓練施設において、その運営管理に従事し、将来にわたって引き続き当該業務に従事することが見込まれる者 (2) 30～50歳の者			
内容	本邦研修期間	2006.6.13～2006.7.22		
(1) 日本の職業能力開発行政の概要に係る講義 (2) 日本の職業訓練施設の管理・運営に係る講義 (3) 公共及び民間の職業訓練施設の見学 (4) カントリーレポートの討議、アクションプランの発表	主要協力機関	(財)海外職業訓練協会		
	所管国内機関	JICA横浜・業務第一チーム		
	関係省庁	厚生労働省		
	実施年度	2002年度から2006年度まで		
	特記事項			


職業能力開発行政セミナー Seminar on Human Resources Development Administration		↓	複数人	J0600346
分野課題：教育－職業訓練・産業技術教育 定員：13名／使用言語：英語				
目標／成果	対象組織／人材			
社会的・経済的発展に大きな役割を果たす人造りの一翼を担う職業能力開発行政の一層の向上に資するため、わが国の労働事情並びに職業能力開発行政の現状と課題を広く途上国の行政官に紹介するとともに、参加諸国の当該分野の現状及び問題点を比較討議し、以って参加国の職業能力開発行政全般の発展を通じて社会・経済的開発に寄与することを目的とする。 以下の5点を理解することにより、参加国の職業能力開発行政の改善に資する。 (1) 我が国の職業能力開発行政に関する経済、社会的背景、歴史的推移及び現状 (2) 我が国の職業能力開発のための訓練政策と戦略の確立 (3) 我が国の各職業訓練施設の管理手法と事業運営 (4) 我が国の民間企業による能力開発の現状 (5) 自国の職業能力開発行政向上方法	(1) 現在、職業能力開発行政に携わっている者で、かつ中央省庁の課長職以上の者 (2) 35～50歳の者 (3) 英語の会話、記述に堪能な者			
内容	本邦研修期間	2006.11.7～2006.12.14		
講義、討議、カントリーレポートの発表、見学、研修旅行により構成される。 1. 講義： (1) 労働事情 (2) 日本における職業能力開発とその行政(立案から施策方法等種々の角度より討議する) 2. 討議：カントリーレポートの発表(国別討議)を通じて、参加各国の職業能力開発行政の実情・問題点等を比較討議する。また、講師と研修員及び研修員相互の意見交換を行い、参加国の事情に応じた職業能力開発行政の在り方を模索・討議する。 3. 施設・企業訪問 4. 研修旅行	主要協力機関	中央職業能力開発協会		
	所管国内機関	JICA横浜・業務第一チーム		
	関係省庁	厚生労働省		
	実施年度	2002年度から2006年度まで		
	特記事項			



メカトロニクス訓練 Mechatronics		複数人	J0600571
	分野課題：教育－職業訓練・産業技術教育 定員：8名／使用言語：英語		
目標／成果	対象組織／人材		
<p>開発途上国では、従来の機械工学に関する知識・技能に加え、機械生産システム全般にわたる十分な知識や理解力が求められている。このような社会的な要求から機械系職業訓練施設の中堅技師・技能者は、自動機器製作の要となるメカニズム設計・製作からアクチュエータ、センサの設定およびそれらの駆動と制御までの、メカトロニクスの実践的技術・技能を職業訓練生に指導できることが求められている。本研修にて、新技術を教えるだけでなく、技術の必要性を見極められる人材育成を目的とする。</p> <p>本研修を通じ、参加者が本邦研修で習得した以下の成果6項目の技術・知識をもとに、所属組織の業務に貢献する。(1)自動化機器の仕様を満たす設計ができる。(2)CADを用いて機械部品図及び組立図が作成されている。(3)各種工作機械を使用した部品製作を行なわれている。(4)以下の各制御技術を理解し、説明することができる。①有接点シーケンス制御、②空気圧制御、③センサ/モニターを利用したPLC制御(5)上記項目の知識・技術に基づき、自動化機器の組立・調整・制御までの一連の作業ができています。(6)帰国後のアクションプランが作成されている。</p>	<p>(1) 高等技術専門学校や大学で機械工学を専攻した者、またはこれと同等の専門知識・経験を有する者。ただし、大学院を修了した者、大学で教職についている者は選考対象外とする。</p> <p>(2) 工業高校あるいは職業訓練校において、機械工学分野の指導に従事している者。</p> <p>(3) 年齢25歳～35歳ぐらいの者。</p>		
内容	本邦研修期間	2006.4.25～2006.12.16	
<p>本プログラムは雇用・能力開発機構の指導員等による指導のもと、定められたカリキュラムにしたがって集団で講義・実習を実施する。また、研修員の実用的な技術研修の効果を高めるため工場見学も適宜行う。主な研修項目は以下のとおり。</p> <p>(1)機械技術(CAD、NC加工) (2)制御技術(電子工学、制御システム) (3)複合技術(設計・製図・加工、組立・調整、制御) (4)関連企業の見学</p> <p>なお、研修の前半では基礎的な知識・技術修得の講義・実習が中心となり、後半では前半に習得したものをもとに、全員で一つの自動機器を作成・完成させる。</p>	主要協力機関	独立行政法人雇用・能力開発機構	
	所管国内機関	JICA横浜・業務第一チーム	
	関係省庁	厚生労働省	
	実施年度	2002年度から2006年度まで	
	特記事項	応募にあたり、①現在の業務内容、②業務遂行上の問題点、③メカニズムの設計・製作・アクチュエータ・センサの選定・駆動・制御の中で、最も力を入れて習得したい項目および帰国後の活用方法についてまとめ、提出すること。	

職業訓練指導員(情報技術) Vocational Training Instructors(Information Technology and Computer for Instructors and Engineers)		複数人	J0600784
	分野課題：教育－職業訓練・産業技術教育 定員：8名／使用言語：英語		
目標／成果	対象組織／人材		
<p>参加者が研修で習得した知識や技術を、自身の情報技術に関わる職業訓練コースの改善に活用すると共に、他の指導者・技術者に対して研修内容を伝達することにより、自国の職業訓練コースの改善および研修生の質を高める。</p> <p>成果： 1. コンピューター制御・組立・操作技術を習得する 2. プログラミング技術を習得する 3. データ通信とネットワーク技術を習得する 4. データベースとその応用技術を習得する 5. 訓練教材作成技術の習得すると共にアクションプランを作成し、発表する</p>	<p>(1) 情報工学関係分野の職業訓練指導員として、指導・教育業務に従事している者又は技術者 (2) 大学の情報工学科系卒、または同等の学歴を有する者で、3年以上の実務経験を有する者 (3) 英語に堪能な者 (4) 25～35歳の者 (5) 博士及び修士号取得者を除く (6) 過去に本研修コースに参加経験のない者</p>		
内容	本邦研修期間	2006.6.20～2006.12.23	
<p>下記の分野の講義・実習・見学等により構成される。</p> <p>(1)コンピューターネットワーク(2)光通信工学(3)通信工学(4)ワンチップマイコン実習(5)イントラネットサーバー実習(6)情報処理I(データベース)(7)情報処理II(UNIX)(8)コンピュータプログラミングI(Windows Programming)(9)コンピュータプログラミングII(C)(10)コンピュータプログラミングIII(Java)(11)コンピューター技術調査(12)工場実習(13)事業所見学、研修旅行(14)訓練教材作成(15)アクションプラン作成・発表</p>	主要協力機関	職業能力開発総合大学校	
	所管国内機関	JICA横浜・業務第一チーム	
	関係省庁	厚生労働省	
	実施年度	2003年度から2007年度まで	
	特記事項		


職業訓練指導員(機械専門技術) Vocational Training Instructors(Mechanical Engineering for Instructors and Engineers)		↓	複数人	J0600785
対象国の条件：キャッチオール規制対象外国		分野課題：教育－職業訓練・産業技術教育 定員：11名／使用言語：英語		
目標／成果	対象組織／人材			
参加者が研修で習得した知識や技術を、自身の機械専門技術(生産)に関する職業訓練コースの改善に活用すると共に、他の指導者・技術者に対して研修内容を伝達することにより、自国の職業訓練コースの改善および訓練生の質を高める。 成果 1. CAD/CAMによる設計、生産技術を習得する 2. NC機械を含む機械加工を習得する 3. CATを含む計測技術を習得する 4. 生産技術を習得する 5. 訓練教材準備・作成手法を習得すると共にアクションプランを作成し、発表する	(1) CAD/CAM・生産技術：生産機械工学関係分野の指導・教育業務従事者 (2) 大学卒、5～10年以上の実務経験を有する者 (3) 年齢25～35歳の者 (4) 博士及び修士号取得者を除く (5) 過去に本研修に参加経験のない者			
内容	本邦研修期間	2006.6.20～2006.12.23		
「CAD/CAM・生産技術」は講義・実習・見学等により構成される。 (1)工作機械 (2)機械加工 (3)精密測定学 (4)金属・合金技術 (5)機械設計製図 (6)制御工学 (7)プログラム(8)CAD/CAM/CAE/CAT(9) NC機器 (10)工作機械実習 I (11)工作機械実習 II (12)空気圧実習 (13)精密機械加工実習(14)訓練教材作成(15)工場実習 (16)事業所見学・研修旅行(17)アクションプラン作成・発表	主要協力機関	職業能力開発総合大学校		
	所管国内機関	JICA横浜・業務第一チーム		
	関係省庁	厚生労働省		
	実施年度	2003年度から2007年度まで		
	特記事項	平成17年度まで本研修はサブコースA)CAD/CAM・生産機械工学とサブコースB)機械制御工学に分かれていたが、18年度よりサブコースB)機械制御工学をなくして、「CAD/CAM・生産機械工学」のみを実施する。		

職業訓練向上セミナーⅡ Seminar on Enhancement of Vocational Training II		↓	複数人	複数年	J0600869
分野課題：教育－職業訓練・産業技術教育 定員：11名／使用言語：英語					
目標／成果	対象組織／人材				
本研修は、開発途上国における社会的・経済的発展に大きな役割を果たす人造りの一翼を担う職業訓練分野の振興に資するため、開発途上国の職業訓練指導員に対して我が国における職業訓練の現状を紹介するとともに、職業訓練指導員として具備すべき職業訓練コース開発・運営法及び指導技法に係る知識・技能を実習を通して習得させ、職業訓練指導員として共通的な分野の知識・技術・技能の向上を図ることを目的とする。 1.日本における経済的・社会的・歴史的背景と職業能力開発の現状を理解し、自国の状況と比較して自国の所属先が抱える問題点が説明できる。 2.職業訓練指導員の役割と業務を理解し、施設・設備管理、安全・衛生管理、訓練生管理を適切に行える。 3.訓練コース開発(ニーズ調査、コース設定、カリキュラム作成、訓練評価)についての概要を理解し、コースの企画・立案を行うとともに訓練改善案が策定できる。 4.パソコンを活用した効果的な資料作成、プレゼンテーションが行える。 1～4について、普及計画案が作成できる。	1. 現在公共の職業能力開発施設において、工業分野の指導員として5年以上従事し、将来にわたって引き続き当該業務に従事することが見込まれる者。 2. 英語の会話、記述に堪能な者。 3. 年齢30-45歳。 4. 研修に耐える精神力、身体的健康を有する者。				
内容	本邦研修期間	2006.10.3～2006.11.18			
1.講義 (1)日本の職業能力開発行政の概要 (2)職業訓練指導員の役割と業務 ア)施設・設備の維持・管理 イ)安全・衛生管理 ウ)訓練生管理 (3)訓練コース開発 ア)訓練ニーズの把握と分析 イ)訓練カリキュラム開発 ウ)訓練評価 (4)訓練の実施 ア)講義の進め方 イ)実技の進め方 2.討議／発表 (1)カンントリーレポート発表を通じて、参加各国の職業訓練現場における実情・問題点を比較・討議する。 (2)中間討議にて講義や見学に係る不明点等を解決し、アクションプラン作成の準備を図る。 (3)アクションプラン発表及び意見交換により研修成果を確認し、参加国に適合した職業訓練の実施方法を模索する。	主要協力機関	(財)海外職業訓練協会			
	所管国内機関	JICA横浜・業務第一チーム			
	関係省庁	厚生労働省			
	実施年度	2004年度から2008年度まで			
	特記事項				

地方教育行政セミナー(サブ・サハラアフリカ諸国)Ⅱ Seminar on Local Educational Administration(Sub-Saharan African Countries)Ⅱ			複数人	J0600721
対象国の条件：サブサハラアフリカ諸国		分野課題：教育－教育行政 定員：10名／使用言語：英語		
目標／成果	対象組織／人材			
教育の質的向上を目指した教育行政を学び、自国の教育行政における改善策を検討する。 アフリカの教育が直面している課題には施設や教材の不足など量的な問題と、カリキュラムの質、教員の質、学校組織の機能不足など質的な問題があるが、本研修が扱うのは、教育視学官や校長など、地方教育行政の現場責任者の取組を通じた、教育の質的向上である。 本研修は、学校教育を構成する最小単位である教室における「授業の工夫と改善」、教員の質的向上を目指した「教員研修のあり方」、「学校運営」の3本に焦点を当てたカリキュラムで構成される。	以下のいずれかに該当する者 ・学校教育改善責任者である教育行政官(教員経験がある、もしくは校長か教頭の経歴のある者が望ましい) ・5年以上の教員経験があり、教員時代に学校や授業の改善に取り組んできた経験(例えば教員研修の実施など)のある小中学校の校長か教頭 ・教員養成大学か教育大学で5年以上の教育手法講師経験のある者			
内容	本邦研修期間	2007.1.16～2007.2.17		
アフリカの教育が直面している課題には施設や教材の不足など量的な問題と、カリキュラムの質、教員の質、学校組織の機能不足など質的な問題があるが、本研修が扱うのは、教育視学官や校長など、地方教育行政の現場責任者の取組を通じた、教育の質的向上である。 本研修は、学校教育を構成する最小単位である教室における「授業の工夫と改善」、教員の質的向上を目指した「教員研修のあり方」、「学校運営」の3本に焦点を当てたカリキュラムで構成される。 主に以下のテーマについて、講義、視察、討論によって構成される。 ・日本の教育行政(日本の教育制度、札幌市の教員研修制度、教育関連機関の役割) ・各学校、教室における授業改善の取り組み(授業研究、教員との討論) ・種類の異なる学校における授業の現場(小学校、中学校、高等学校、養護学校、幼稚園、大学など)	主要協力機関	札幌市教育センター		
	所管国内機関	JICA札幌・業務第一チーム		
	関係省庁	独立行政法人国際協力機構		
	実施年度	2002年度から2006年度まで		
	特記事項			

人材育成プログラム運営 Management of Human Capacity Development Programs		 複数人	 複数年	J0600027
		分野課題：教育—その他教育 定員：10名／使用言語：英語		
目標／成果	対象組織／人材			
途上国の政府機関、政府関係機関、非政府団体、企業等の人材育成計画または改善案が策定される。 上記目標のため、参加者によって以下が達成される。 1. 組織内人材育成の効果や実施上の留意点が整理される。 2. 研修／教育機関の運営戦略が整理される。 3. 研修プログラムの開発・運営の効果的な方法が整理される。	【対象組織】 ①省庁、団体、企業等の人事担当部署、 ②研修事業実施機関、 ③人材育成研究機関、 ④途上国向け人材育成事業実施機関 【対象人材】 (1)以下のいずれかの職務にある者： ①省庁、団体、企業等の人材育成担当者または管理職、 ②研修期間の講師または管理職、 ③研究機関の研究者または管理職、 ④途上国向け人材育成事業担当者または管理者、 (2)職務経験5年以上、 (3)年齢30歳以上55歳以下			
内容	本邦研修期間	2007.2.5～2007.3.4		
<事前活動> 組織における現状と課題を記載した報告書(Inception Report)を作成する。 <本邦活動> 講義、演習、視察、レポート発表により構成される。 モジュール 1. 日本の組織における人材開発戦略 -組織ビジョンと教育戦略の連動性 -コスト型教育と投資型教育の概要 -日本の組織におけるOJT、Off-JT、通信教育・e-learning自己啓発型教育の実態と課題 -組織の人間関係を通じた人間教育の実態と課題 -Organizational Developmentを活用し組織改良を目指した教育 -人材育成と人材戦略との連動性 -開かれたコミュニティを活用した教育の展開 -日本経済と産業の発展と人材育成の展開 -日本経済と産業の発展と人材育成の変容 2. 研修／教育機関の運営戦略 -研修を提供する准公的機関 -研修を提供する教育機関 -公務員への教育 -研修担当者育成コース 3. 研修プログラムの開発戦略 -インストラクショナルデザイン(プロセスモデル、目標設計、評価設計、方法設計) -研修プログラムの企画立案・進め方 -研修プログラムの事例研究 <事後活動> 本邦研修終了後3ヶ月以内に、最終報告書(Final Report)を作成する。	主要協力機関	未定		
	所管国内機関	JICA東京・社会開発チーム		
	関係省庁	独立行政法人国際協力機構		
	実施年度	2005年度から2009年度まで		
	特記事項	-最終報告書(Final Report)記載の改善案の実施に必要な有効な場合、フォローアップ協力の対象となる可能性がある。 -本プログラムの講師陣は、組織内人材開発において著名な研究者や財界人である。 -本プログラムは参加者が日本の組織内人材育成の本質を理解した上で、各国への適応方法や効果的かつ継続性のある人材育成メカニズムの開発を行う、知的創造・課題解決能力創造型プログラムである。 -本プログラムは、公的機関/民間企業の人材育成を内容としている。特定のセクターを対象としていないため、どのセクターでも参加可能である。 -平成19年はコース内容変更の可能性あり。		

本研修は、一般の研修のように参加者個人を対象としたものではなく、組織を対象とします。多数の人材への知識の普及や改善計画の策定などの個人の次元を超えた課題に直面する組織のために特別プログラムとして用意されたものです。このため、研修に参加する途上国側にも、事前の報告書の作成や本邦プログラム後の成果品の策定などについて、組織的に取組んでいただくことを想定しています。

自然体験を通じた環境教育トレーニング Environmental Education Through a Nature Experience		 複数人 J0600759 主分野課題：教育－その他教育 副分野課題：自然環境保全－生物多様性保全 定員：10名／使用言語：英語
目標／成果	対象組織／人材	
<p>環境教育プログラムを計画、実施、評価する能力を身につけ、環境教育の普及・啓蒙活動を実施する。</p> <p>上記のために、参加者は以下を達成する。</p> <p>(1) 日本の自治体や地域、学校等における自然体験型環境教育の実例を学び、自国への適応の可能性について考察する。</p> <p>(2) 自然体験型環境教育の手法やその有効性について理解する。</p> <p>(3) 自国において、環境教育を普及させるためのアクションプランを作成する。</p>	<p>【対象組織】 環境教育を推進する行政機関およびNGO/NPO 団体、自然保護区管理機関</p> <p>【対象人材】 (1) 環境教育の計画立案・実施に携わる行政官、教員、NGO/NPOスタッフ (2) 当該分野における3年以上の経験 (3) 自然体験プログラムを体験できる体力 (4) 十分な英語力</p>	
内 容	本邦研修期間	2006.10.9～2006.11.19
<p>< 事前活動 > (1) レポート作成</p> <p>< 本邦研修 > (1) 日本の環境教育の実例の紹介 1) 自治体、地域、学校、NGO、企業それぞれの役割と取り組みの紹介・現場視察 2) 各組織どうしのネットワークの構築 3) 自然体験型プログラム普及活動と指導者育成</p> <p>(2) 自然体験型環境教育の手法とその有効性 1) 総論(持続可能な開発のための教育、自然体験型環境教育論) 2) 各論(エコツーリズム論、インタープリテーション論、プログラムデザイン論) 3) 各種プログラムの体験(エコツアー、室内型プログラム、都市環境における自然体験プログラム)</p> <p>(3) アクションプランの作成 1) 自国の現状分析 2) 各国の取り組みの共有 3) アクションプラン作成</p> <p>< 事後活動 > (1) プロGRESS・レポートの作成、提出</p>	主要協力機関	NPO法人ホールアース研究所
	所管国内機関	JICA中部・業務チーム
	関係省庁	独立行政法人国際協力機構
	実施年度	2003年度から2007年度まで
	特記事項	

本研修は、一般の研修のように参加者個人を対象としたものではなく、組織を対象とします。多数の人材への知識の普及や改善計画の策定などの個人の次元を超えた課題に直面する組織のために特別プログラムとして用意されたものです。このため、研修に参加する途上国側にも、事前の報告書の作成や本邦プログラム後の成果品の策定などについて、組織的に取組んでいただくことを想定しています。

目標／成果	対象組織／人材	
<p>近代化を進める各国において、町並みや都市景観にみられる文化的伝統を継承することの意義は、グローバル化する現代においてかえって重要性を増している。本研修では、近代化と対立矛盾するのではなく、近代化における例外として凍結保存するものでもない、生きた町として歴史的町並みを保全し継承するための理念、調査法、計画法、制度づくり、住民参加の方法などを理論と実地訪問を通じて研修する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町並み保全の概念を学ぶ 2. 町並み保全に関する日本の経験、現状を理解する 3. 町並み保全の手法(調査、計画)を学ぶ 	<ol style="list-style-type: none"> (1) 文化財行政、都市政策・計画行政に携わる公務員または町並み保全・景観保全に携わる大学等の研究者 (2) 大学卒業または同程度の能力を有する者 	
内容	本邦研修期間	2006.7.31～2006.9.16
<ol style="list-style-type: none"> 1. 町並み保全の概念 2. 町並み保全の手法 3. 文化財的保存手法 4. 町づくりとしての町並み保全 5. 風景の保全 6. 調査・計画実習 7. 現地研修 	主要協力機関	立命館大学理工学部
	所管国内機関	JICA大阪・業務第三チーム
	関係省庁	独立行政法人国際協力機構
	実施年度	2004年度から2008年度まで
	特記事項	

産業技術教育II Industrial Technology Education II		目	複数人	複数年	J0600891
分野課題：教育－その他教育 定員：10名／使用言語：英語					
目標／成果			対象組織／人材		
<p>各国の中等レベルにおける技術科教育が改善される。</p> <p>上記目標のために、参加者は以下を達成する。</p> <p>(1) 日本の教育制度を理解できる (2) 初等中等を主とした技術教育の重要性を理解できる (3) 日本の産業の発展と教育の関わりについて理解できる (4) 自国の教育において技術科教育を含めたカリキュラムが作成できる</p>			<p>(1) 相手国政府の推薦による者 (2) 技術教育分野に従事する中央及び地方行政官で当該分野で5年以上の実務経験を有する者 (3) 年齢が25歳から45歳までの者 (4) 心身共に健康な者 (5) 十分な英語力を有する者</p>		
内容			本邦研修期間	2006.6.8～2006.7.22	
<p>< 事前活動 > (1) 自国の教育および技術教育の現状を記したCountry Reportの作成 (2) 自らの職務を記したJob Reportの作成 (3) 技術教育に関する10年後のビジョンを記したInception Reportの作成</p> <p>< 本邦活動 > 以下の研修項目により、日本の教育における技術科教育の位置づけや、産業とのつながり、その優位性等について理解し、各国の教育で実践されている技術教育の改善のためのアクションプランを作成する。</p> <p>研修項目 (1) 日本の教育概要 (2) 日本の技術科教育 (3) 各年次における技術教育の実例 (4) 技術科教員養成 (5) 産業の発展</p> <p>< 事後活動 > (1) 本邦活動により作成したアクションプランに基づき、所属先の承認を得て実行する。 (2) 帰国後6ヶ月を目途にアクションプランの進捗および結果をResult Reportとして作成し、提出する。</p>			主要協力機関	愛知教育大学	
			所管国内機関	JICA中部・業務チーム	
			関係省庁	文部科学省	
			実施年度	2004年度から2008年度まで	
			特記事項	本研修は主に中等レベルでの教育における日本で言う「技術科」の教育が充実されることを目的としている。職業訓練校で習得するような技術を扱う研修ではない。	

本研修は、一般の研修のように参加者個人を対象としたものではなく、組織を対象とします。多数の人材への知識の普及や改善計画の策定などの個人の次元を超えた課題に直面する組織のために特別プログラムとして用意されたものです。このため、研修に参加する途上国側にも、事前の報告書の作成や本邦プログラム後の成果品の策定などについて、組織的に取組んでいただくことを想定しています。

博物館学集中コース Intensive Course on Museology		！	複数人	複数年	J0600898
分野課題：教育－その他教育 定員：8名／使用言語：英語					
目標／成果			対象組織／人材		
<p>本研修は、博物館運営に必要な、収集・整理・保存・展示・教育に関する実践的な技術を磨き、博物館を通じて途上国の文化振興に積極的に貢献できる人材を育成する。</p> <p>そのための具体的な目標は以下のとおり。</p> <p>目標1 博物館学の総論を学び、博物館活動に必要な一般的知識を習得する</p> <p>目標2 資料の収集・手法や写真撮影、映像記録、データベース化などを含めた資料の整理手法を習得する</p> <p>目標3 資料の点検、環境整備、虫害管理などの保存手法を習得する</p> <p>目標4 展示設計をはじめとする資料の活用手法を習得する</p> <p>目標5 博物館が求められている社会連携(教育活動、地域住民との関わり)について学ぶ</p>			<p>(1) 学歴:大学卒業程度</p> <p>(2) 経験3年以上のジュニアキュレーターで、以下のいずれかの分野においては実務経験を持つ者:収集、ドキュメンテーション、保存、展示企画、教育、その他の関連分野(本研修は館長を対象としたマネジメントコースではない)</p>		
内容			本邦研修期間	2006.4.3～2006.7.22	
<p>共通プログラム(約10週間)</p> <p>博物館活動全般を理解するための講義、ワークショップ、博物館見学、研修旅行からなる。</p> <p>1. 博物館学概論</p> <p>2. 博物館学各論</p> <p>(1) 資料の収集・整理</p> <p>(2) 資料の保存・管理</p> <p>(3) 資料の活用(展示)</p> <p>(4) 博物館の教育・広報</p> <p>3. 日本の博物館視察</p> <p>4. その他(防犯対策、知的所有権など)</p> <p>個別研修プログラム(約3週間)</p> <p>各自の専門分野についてグループ分けして研修を行う。</p> <p>テーマ例:博物館と地域コミュニティ、予防保存、資料の保存と修復、考古遺物・遺跡の保存、展示デザイン 等</p>			主要協力機関	国立民族学博物館	
			所管国内機関	JICA大阪・業務第三チーム	
			関係省庁	文部科学省	
			実施年度	2004年度から2008年度まで	
			特記事項		

